

令和元年度

事業報告

社会福祉法人 長い坂の会

I	はじめに		III	児童福祉事業	
1	法人総括	3	[1]	うららか保育園 関連事業	
II	高齢者福祉事業		1	うららか保育園	55
[1]	やすらぎの家 関連事業		2	特別保育事業	57
1	特別養護老人ホームやすらぎの家	6	3	行事研修状況	59
2	短期入所生活介護やすらぎの家	20	4	放課後児童クラブ	61
3	グループホームほのぼのの家	21	IV	公益事業	
[2]	うららか春陽荘 関連事業		1	平成福祉専門学校	64
1	特別養護老人ホームうららか春陽荘	24			
2	居宅介護支援事業所はるの	25			
3	デイサービスセンターはるかぜ	25			
4	デイサービスセンターそよかぜ	26			
5	短期入所生活介護うららか春陽荘 (ショートステイ)	26			
6	高齢者住宅等安心確保事業 (横浜ニュータウン)	26			
7	うららかキッズガーデン (事業所内小規模保育施設)	27			
8	年間行事実施状況	27			
9	春陽荘各種委員会報告	27			
10	事業活動実績	30			
11	研修参加状況	31			
[3]	在宅介護センターわかくさ 関連事業				
1	デイサービスセンターくつろぎの家	42			
2	デイサービスセンターわかくさの家	45			
3	小規模多機能型居宅介護 わかくさ	47			
4	くつろぎの家 訪問入浴サービス	49			
5	高知市在宅介護支援センター あさくら	50			
6	高知市西部地域高齢者支援センター あさくら出張所	53			
7	生活援助員派遣事業 (若草)	55			

1 法人総括

(1) 平成31年度（令和元年度）理事会、評議員会、監事監査、開催状況

① 理事会 定数8名

開催年月日	出席定数	決議事項
令和元年6月5日（水）	7名	第1号議案 平成30年度事業報告(案)及び決算報告(案)について ・事業報告について ・決算報告について ・監事 監査報告について 第2号議案 定款の一部改正について 第3号議案 理事及び監事候補者の選任について 第4号議案 評議員選任・解任委員の交代について 第5号議案 評議員選任について 第6号議案 評議員会の招集について 第7号議案 令和2年度入学生の教育課程変更について 第8号議案 社会福祉充実残額について
令和元年6月21日（金）	8名	第1号議案 理事長の選任について 第2号議案 業務執行理事の選任について
令和元年12月20日（金）	7名	第1号議案 令和元年度第1回補正予算について 第2号議案 諸規程の制定及び一部改正について 第3号議案 運営規程の一部改正について
令和2年3月26日（木）	7名	第1号議案 令和元年度第2回補正予算について 第2号議案 令和2年度事業計画について 第3号議案 令和2年度当初予算について 第4号議案 長い坂の会管理職等の人事について 第5号議案 諸規程一部変更について 第6号議案 平成福祉専門学校学則の変更について その他 高知市監査報告について

② 評議員会 定数10名

開催年月日	出席定数	決議事項
令和元年6月21日（金）	8名	報告事項 平成30年度事業報告について

		<p>第1号議案 平成30年度決算報告及び財産目録の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算報告について ・監事 監査報告について <p>第2号議案 定款の一部改正について</p> <p>第3号議案 理事及び監事の選任について</p> <p>第4号議案 社会福祉充実残高について</p>
--	--	--

③ 監事監査

開催年月日	監査者	指導事項
令和元年5月31日(金)	梅田昭彦 中村文雄	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等の監査結果 <p>一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。</p> <p>二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算関係書類及び財産目録の監査結果 <p>計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。</p>

(2) 第三者委員活動報告

自事業所名	委員	苦情相談件数	活動内容
特別養護老人ホームやすらぎの家	高橋善則 門田権四郎 村岡叔世	0件	毎月、施設の状況説明(実績や行事等)の報告を行い、施設運営についての現状を報告する。施設内でのトラブル等があれば報告し必要な場合は第三者委員に報告する。施設内の巡視も行い、意見もいただく。
特別養護老人ホームう	島村長生	0件	毎月、施設の状況説明(実績や行事等)の報告を行い、施設運営につい

ららか春陽荘	中山すみ恵		での現状を報告する。施設内でのトラブル等があれば報告し必要な場合は第三者委員に報告する。施設内の巡視も行い、意見もいただく。
うららか保育園	島村長生 上田和子 田村啓	0件	毎月、園の活動、園児状況や地域での活動等も報告を行う。園内でのトラブル等があれば報告し必要な場合は第三者委員に報告する。園内の巡視も行い、意見もいただく。

(3) 法人総括

団塊の世代が75歳以上となり、高齢化がピークを迎える2025年（令和7年）に向け、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現しようとしているなか、社会福祉法人の役割は、福祉サービスの提供確保の中心的役割を果たすと共に、様々な福祉ニーズを充足することにより、地域社会に貢献していくことで、これまで以上に公益性の高い事業運営が求められている。

本年度において、法人の事業目標でもあった法人本部機能編成を見直す新たな年度の始まりでもあった。法人本部と各拠点との情報共有や共通認識など連携を強化し、円滑な運営に努めた。

年間を通じ、稼働率など全体的には頑張った年度ではあったが、年度末にかけて在宅系のサービスにおいては、多少なりとも新型コロナウイルスの影響を受けた。高知県内では令和2年2月に四国で初めて新型コロナウイルス感染者が出ており、法人内でも感染予防対策を強化し、在宅系のご利用者などの受入れの問題や各種行事・活動、面会や業者などの制限をかけることとなり、運営面でも実績は左右されることとなった。しかし、長い坂の会では、行政機関などより発信された感染予防対策などを最優先することで、本年度は幸いにも感染発症者は出ていない状況である。今後も引き続き気を緩めることなく感染予防対策に努める。

人材確保については、社会的に介護は厳しいと言われる状況の中で、昨年度に引き続き退職者が減少傾向となった。また、人材育成については、新人研修などを実施し、さらに定着を促進するため、処遇改善・特定処遇改善加算の活用や、昇格試験などの実施により処遇改善を図った。しかしながら、保育士の確保が難しく、一時保育事業などの受入を休止する現状となった。今後も、外国人雇用やシルバー雇用など多様な人材確保も視野に入れることなどが課題となった。

また、6月には、「高知県介護事業所認証評価制度」において、介護職員の育成や定着、ご利用者満足度の向上に向けた積極的な取組に対して高知県より認証を受けることが

できた。

高齢事業については、在宅サービスが夏季と冬季に稼働率の変化はあるが、本年度は比較的安定したサービス展開ができたと思われる。入所については、冬季の感染症を予防できたことは稼働に繋がっている。また、施設内での重大事故についても、昨年度より件数が減少傾向であったことは、現場職員の利用者処遇の改善や意識の向上などが大きかったと思われる。しかし、現場での事故については、緩むことなく今後も取り組んでいく課題である。

保育事業では、昨年度から始まった、処遇改善などの保育士への待遇改善もあったが、社会的な問題である、採用に繋がらないことが課題となった。入園児のニーズと保育士の配置人数のバランスにより、受入れに悩まされたが、保育園での対応については職員一丸となり、例年通りの運営ができた。

養成校事業も現役高校生をより介護福祉士養成校へと導く努力と入学後の専門学習の成果が出始めている。高知県内での養成校の必要性と実績から、専門学習だけでなく、教員の日常的な指導が卒業時の介護福祉士資格取得に対する評価に繋がった。介護福祉士養成学校の入学者の激減は深刻な問題だが、今後も介護の魅力や特色などの発信に努める。

Ⅱ 高齢者福祉事業

[1] やすらぎの家 関連事業

総括

本年度の基本方針・重点目標を念頭に置きながら、ご利用者及びご家族との関わりを大切にし、誠意を持って日常生活の支援・サービスの向上に努めた。

感染予防対策については、「新型コロナウイルス感染症」の発生が報告されて以来、感染防止のための対応策などのマニュアルに基づき、ご利用者・職員の健康チェック、ご家族や業者の面会・立入り制限の他、棟を区切るなど行動範囲を定め、感染防止対応策の強化に努めた。

リスクマネジメントにおいては、職員が注意することで防げる誤薬事故については、マニュアルの遵守不足、職員間の連携・確認不足が反省点として挙げられた。事故防止委員会にて反省点を踏まえ、服薬マニュアル遵守の意識の向上、意識付けの持続など、再度周知・徹底に努めた。

入所稼働率については、年間入院日数 1,500 日以内の目標達成はできなかったものの稼働率年間平均 95.74% (空床ショート含)、過去 10 年間に初めて 95% 超えを達成できた。ショートステイは、1 日平均利用者数 10.05 人 (定員 11 人)・年間平均 91.5%、グループホームは、体調不良者の入院もあり年間平均 97.18%、両事業とも昨年度よりも若干の稼働率の低下という結果となった。

補助金事業については、昨年度に引き続き、高知県介護福祉機器等導入支援事業補助金

において、電動ベッド一式、高知県地震防災対策推進事業補助金で自家発電装置他を導入、高知市福祉避難所に係る補助金で備蓄倉庫を設置するなど、補助の目的に沿って活用することができた。

建物・設備の老朽化に伴い毎年計画的に実施している施設整備については、長年使用していた特殊寝台浴槽の新規設置、2号館のエレベーター改修工事、その他軽微な修繕補修を実施し問題対処を図った。

継続的に取り組んでいる防災対策については、災害対策訓練「災害ワーキング」をファミリー清掃と併せて同時開催し、ご家族にも参加をしていただき、福祉避難所での災害発生時を想定し、避難所受入訓練や通報・衛星電話連絡体制などを実施し、迅速かつ的確に対応できるよう、危機管理委員・防災委員が中心となり、防災意識・行動力向上に努めた。

平成12年に措置から介護保険制度に変わって以来、幾度か法改正があり、個室ユニットが主流となった。そんな中、多床室であるがゆえの不便さもあり、困難な課題もあったものの、職員全員の頑張りとはよりもご利用者の笑顔とご家族のご理解とご支援に支えられて、本年度35周年を迎えることができた。これまでの実績を大切にしながら、ご利用者と職員にとって安心と信頼が築ける良い環境づくりに努める。

1 特別養護老人ホーム やすらぎの家

(1) 介護部門

1号館

本年度の施設の事業計画・介護部門の事業計画、各グループの目標を念頭に、四季を感じてもらえるような活動を定期的実施することで、ご利用者の希望にできるだけ添えるようなケアに介護職員全員で取り組んだ。

2号館

年間目標である、利用者への「尊厳」「誠実な対応」に努め、希望に沿った支援を目指す、に対し2号館では、「その人らしい生活」「健康で日々を楽しめる生活」を目標に掲げ取り組んできた。月1度開催されるグループ会では、認知症の理解を職員同士学び合う機会を設けた。またご利用者お一人おひとりについて、個別性を踏まえたいうで日々の状態変化に対するケア方法について検討することができた。季節のイベント開催のみでなく何気ない日常生活の中での気づきを大切に、ニーズ把握に努めた。

① 各委員会の取り組みについて

今年度は施設のケア向上に繋がるように、各委員会所属職員の役割をもっと明確にし取り組みを実施した。

○感染症予防に関しては、ご利用者の疾患歴を把握し重点的にケアの統一化を図ったことで職員の意識向上に繋がり入院者の減少に繋がった。しかし、2号館では8月から9月にかけて風邪症状が蔓延し、多数の体調不良者が出た。清潔な環境と温湿度管理の重要性を号

館全体で改めて考え清掃の徹底と換気への意識付けを行った。

○褥瘡予防委員会では医務室・管理栄養士との連携を図り、褥瘡予防委員がご利用者の情報をできるだけ正確に把握することに努めた。また、ご利用者の状態について速やかに報告・連絡・相談を行い、必要に応じてカンファレンスを開催することに取り組んだ。しかし、剥離、褥瘡発見後の対応が遅れたことにより治癒までに長期化した事例もあったため、褥瘡予防委員に早期発見・早期対応を目指すように再度周知を行った。また、重度ご利用者の拘縮予防に床走行式リフトを1年間使用することでご利用者の拘縮予防、軽減に繋がった。

○事故防止・身体拘束廃止・虐待防止委員会では毎月のグループ会にて対象ご利用者について課題解決に向けての話し合いを行った。一方、不適切なケアの発生、ご家族からの意見などが挙がり、職員同士の情報共有の不足や利用者の立場から不安な気持ちを受け止めることへの配慮が足りていなかったことに気付かされた。また、介護事故については離設事故が同じご利用者に2件挙がっており、全ての課題解決に繋がってはいないが、施設のケア向上に繋がるように各委員会所属の職員を中心に考え取り組んだ。

② 多職種連携について

歯科医師による毎月の口腔ケア指導は対象グループを決めて継続して実施している。

毎週水曜日には、歯科医師の訪問診療にてご利用者の状態に合わせた口腔内の観察や治療を実施している。機能訓練については各グループの介護職員による生活リハビリはケアプランに添って実施することで、ご利用者の身体機能の維持・向上に努めた。経管栄養のご利用者への口腔ケアに看護師と連携しながら取り組んだ。しかし、口腔リハビリや体操などは十分に組み込むことができなかった。

③ 職員研修について

○介護保険制度で定められた必須研修（感染予防・事故防止・身体拘束廃止・虐待防止）については適宜開催した。

○年度初めに（毎年継続している）職員から提出される自分シートを活用し目的を持った研修（外部、内部）に積極的に参加している。また、外部研修に参加した職員からの伝達研修をすることで職員の意識も向上し、介護職員育成にも繋げるよう取り組み、ご利用者により良いケアが提供できるように努めてきた。その他にも新人職員への{初期}{中期}{後期}の職員研修を他職種にも協力してもらい、専門職としての資質向上に向けた体制作りを強化した。

④ 安全・衛生委員会について

安全・衛生委員会の目的に添って毎月テーマを決めて検討し職員に発信した。内容を職員に発信することで職員の健康管理や働く環境整備に取り組んだ。

⑤ ご家族、ボランティアの方々との交流について

年2回の家族会とファミリー清掃を通じてご家族との交流を図り、他のご家族や職員との積極的な信頼関係作りに努めている。また、年間行事に平成福祉専門学校の学生ボランティアの協力や外部のボランティアの方々にも参加していただきご利用者の余暇活動の

充実にも努めている。

(2) ケアマネ部門

I 施設サービス計画書の作成に関して

- ① サービス計画を作成するためのアセスメントに関して、当施設独自のアセスメント表1、身体機能評価シート、アセスメント表3を他職種共同で作成し、定期的を実施してきた。

アセスメント表1では、既往歴、現病などの健康状態、服用している薬剤、期間中の発熱、期間中の受診・入院の有無、褥瘡のリスク、皮膚の問題などを看護職員、ケアワーカーが記載したケース記録をもとに、担当ケアマネが取りまとめて記載している。またご利用者本人の意思も担当ケアマネが聞き取り記載している。身体機能評価シートでは、起居、立位、歩行、着脱、整容の各動作の自立度だけでなく、低栄養、脱水、便秘などのリスクの評価に資するために、直近2ヶ月間の食事摂取量および水分摂取量、排泄の1日の回数とトイレなどで排泄があった回数、排便間隔などを記載する項目を盛り込んで担当ケアワーカーが評価をしている。アセスメント表3では認知症症状について担当ケアワーカーが評価している。身体機能評価シートとアセスメント表3は最終的に担当ケアマネージャーがその内容を吟味したうえで、サービス担当者会に提出した。

- ② モニタリングについては、的確に実施するように努めた。モニタリング原案の項目を担当ケアマネが作成し、ケアプランチェック表の集計に踏まえてケアワーカーから聞き取った内容を原案としてまとめ、サービス担当者会に提出した。またモニタリング原案の中に、在宅復帰についての項目を設け、キーパーソンを含むご家族の状況を踏まえ、在宅復帰の可能性について担当ケアマネの意見を原案として提示した。
- ③ ケアプラン原案についても、ICFの生活機能理論に踏まえて、生きがいの目標、活動の目標に関して担当ケアマネの意見を项目的に提示した。そしてそれに基づき、前回作成したサービス計画書(2)を修正または継続してケアプラン原案を作成し、担当者会に提出をした。
- ④ サービス担当者会議には、ご利用者本人および家族が多く参加できるように調整した。ケアマネが主催し、上記のアセスメント表1~3、モニタリング原案、ケアプラン原案素案、ケアプラン原案を順次説明し、ケアワーカー、看護師、管理栄養士、ケアマネがそれぞれの領域ごとに専門的な意見を述べ、本人・ご家族の意向をお聞きし、新しい計画について本人・ご家族と施設職員の合意を作り、ケアマネが取りまとめるかたちで担当者会を実施した。在宅復帰の可能性についても、ご家族の意向に踏まえて検討し結論を出した。
- ⑤ サービス担当者会はご利用者の介護保険の要介護認定更新時にできるだけ合わせて実施した。また、要介護認定更新時の場合は、サービス担当者会議の要点(第5表)に「介護保険更新月」と見出しを付けた。
- ⑥ サービス担当者会議後、担当ケアマネはモニタリング原案、ケアプラン原案、ケアプ

ラン原案を加筆修正して、サービス計画書（1）、サービス計画書（2）、サービス計画書の要点（第5表）を仕上げ、担当者会開催月内にご家族（身元引受人）の同意を得て、交付するように努めた。

サービス計画書（2）のサービス提供開始は担当者会開催月の翌月月初として、サービス計画書についてご家族の同意を得て交付した後に、サービスを開始する手順を整備した。

- ⑦ サービス担当者会議にご家族が参加できない場合には、ご家族の意向の聞き取りをして、サービス計画作成に反映させるように努めた。また担当者会議の開催後、電話などで討議した内容を報告し、ご利用者の状態および施設サービスの内容を十分理解していただくように努めた。電話で聞き取りをした内容はサービス計画書（1）に記載した。
- ⑧ 褥瘡発生時には、褥瘡発症と診断された当日に可能な限りサービス担当者会を実施し、褥瘡発症に限定したアセスメント・プランニングを実施した。また医療機関入院中に身体的・精神的な状態が大きく変化した場合も、退院した当日にサービス担当者会を実施し、アセスメントのやり直し・サービス計画書の修正あるいは変更を行った。その場合のサービス担当者会にご家族が参加できたこともあったが、参加できなかった時は事前に担当ケアマネが電話で意向の聞き取りをし、ケアプランに反映させるようにした。

II 機能訓練の取り組みについて

- ① 身体機能面で維持向上の課題があるとケアマネが判断したご利用者に関しては、ケアプランに挙げて意識的な取り組みを実施した。専門的なリハビリが必要なケース、新規入所者でリハビリ内容の評価が必要なケースなどはPTにリハビリ業務を担ってもらっているが、必要な方全員には実施ができていないのが現状。それ以外はPTの指示に基づいて、ケアワーカーが簡単な訓練を実施した。
- ② PTが実施しているリハビリ内容は記録に残して、他職種に周知する体制をとっている。またご家族からの要望がある時にはケアマネが要望を聞き取り、PTに伝えてスケジュールを調節して、出来るだけ希望に沿いながら、リハビリが実施されるようにしたいが、定員いっぱいであり新規の依頼はできていない。PTとケアワーカーの協働体制でご利用者の身体機能の維持向上をはかる体制をとっている。
- ③ PTによる機能訓練の指導内容や実施状況を把握し、ケアマネが立案するケアプランに反映させるようにした。
- ④ 上記以外のご利用者については、生活動作や身体状況に応じて、ケアワーカーによる生活リハビリを実施した。

（3）医務室

① 健康管理について

ご利用者との関わり、日常の状態の把握に努めるため、爪切りなど接触の機会を増やしていった。後半以降は朝・昼・夕のラウンドを行うようにし、昼は食事の状況把握、食事介助に入るなどし、関わりの時間を増やすことができています。

ラウンド時にケアワーカーより積極的に報告・相談があり、連携を持ちながら異常の早期発見につなげていける状況になってきている。

職員の健康管理については、職員定期健診で生活習慣病について嘱託医の意見がある場合は、本人に声をかけて啓発をしていった。

② 感染症について

幸いにもインフルエンザ発症がなかった。早い時期から室内空間用備品を設置したのも効果があったかもしれない。

新型コロナ感染症の予防策について医務室より積極的に発信し、職員の健康チェックを行い、体調不良がないか、声掛けを行っていった。

ご利用者全員の検温も行い、体調変化の早期発見に努めている。

今回のコロナ対策において、職員の感染対策に対する意識が向上し、今後の感染症（コロナ・インフルエンザ・ノロ）対策に役立つ教訓となっていると評価する。

感染委員会では蜂窩織炎の原因となる足白癬症のチェックを行い、ケアワーカーの気かけにより早期発見につながっていると考える。尿路感染症については入院者も出ており、陰部の清潔、膀胱留置カテーテルの管理、水分摂取量チェックの強化が必要である。感染管理について外部研修参加をし、委員会を通じて啓発に取り組んだ。

③ 褥瘡について

定例会・総会での褥瘡に対しての意識を高める為の啓発を行った。OHスケール測定時に医務室が関わる目標があったが、足を運ぶ機会を持っていない現状があった。ケアワーカーサイドでの栄養状態・皮膚状態把握の報告を受けることで褥瘡発生は最小限であったと評価するが、医務から働きかけてご利用者の褥瘡リスクを把握し、積極的に予防に関わるという活動には至らなかった。

今後の課題

医務の役割として、ご利用者の健康を維持する為には「予防」が重要である。予防的視点でご利用者関わっていくために、なぜラウンドをするのか、その目的を意思統一し、医務室内でのカンファレンスを毎日行い、ラウンドを結果につなげていくことが今後の課題である。

平成 31 年度 受診・入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
受診	23	35	34	16	13	8	14	20	23	17	15	15	19.4
入院	11	8	12	14	18	27	17	16	17	13	8	9	14.1

(4) 給食室

食と栄養を通して、ご利用者が生き生きと楽しく、その方らしい生活の支援ができることを目標に令和元年度は業務を実施した。

家庭的な味付けを基本とした献立作成を行い、定期的に委託業者と献立ミーティングを行

うことで、味、調理方法、盛り付けへの配慮を共有し給食業務を行った。また季節に応じた行事食、旬の食材を献立に組み込むことで季節を感じていただけるよう努めた。合わせて、行事食にはカードを付けどのような行事なのかが、食事以外でも分かる工夫を行った。

年度を通して、月に一度日本各地の郷土料理を紹介、提供する取り組みを行った。この取り組みにより、ご利用者と料理に対することのみでなく、昔その土地におとずれたれた話などしてくれる方もおられ会話の幅を広げることにもつながった。コミュニケーションのツールとしての食という関わり方で施設生活の中の楽しみという取り組みが出来た。

○行事食実施：別紙参照

栄養面に関しては、栄養ケアマネジメント・スクリーニングの実施、担当者会への参加、随時カンファレンスの開催など、ご利用者の栄養管理に努めた。

栄養ケアマネジメント、スクリーニングについては、他職種との共有、発信が不足傾向でであったと思う。来年度はスクリーニングの結果を他職種と共有できる体制づくりに取り組んでいきたい。

衛生管理に関しては、委託業者への清掃、整理整頓の指導、給食室内部研修（今年度は2回実施）により衛生管理面にも配慮を行った。今後は委託業者との業務区分を明確にしていきたい。

提供食の改善・向上を目的とした給食部門会は月1回実施することができた。課題であった参加者の不足については、開催日時をほかの施設行事との兼ね合わせ、給食部門会目的、実施事項を発信することで、参加人数改善を図ることができた。

可能なかぎり食事場面に立ちあうこと、ご利用者の元に行きコミュニケーションとり会話や感じたことを献立作成、調理方法の改善に反映できるよう心がけ業務にあたった。また、他職種とも積極的に関わり、情報収集・情報交換も行うことを心掛け実践した。来年度も引き続き実施していきたい。

郷土料理の日別添資料

	行事食	年間行事・郷土料理の日	研修等
4月		高知県・かつお飯	給食室内部研修 4/11.12 「平成30年度調理従事者研修参加報告②」
5月	5/1 即位の礼（祝日）：赤飯、刺身、祝い菓子、カード 5/5 子供の日：オムライス、和菓子、カード 5/12 母の日：和菓子、カード	神奈川県・海軍カレー	
6月	開園記念日 ：赤飯、刺身、カード	徳島県・そば米	給食室内部研修 (食中毒)

7 月	七夕：七夕そうめん、カード 土用の丑の日：うなぎ	宮崎県・冷や汁 (3日間3種類)	
8 月	納涼祭さわやか里の夕べ ★ご利用者様全員参加のため 献立調整 ★納涼祭出店	韓国・ビビンバ	
9 月	敬老の日(祝日)：敬老の日メニュー、カード	山形県・芋煮	
10 月	十五夜：月見うどん、デザート	兵庫県・ばち汁	
11 月	皿鉢の日	高知県・皿鉢料理	
12 月	冬至：かぼちゃ料理 クリスマス：鶏料理、デザート 大晦日：年越しそば	岡山県・ばら寿司	

(5) 事務部門

- ・施設の窓口として接遇に十分配慮し、明るく、親切、丁寧な対応に努めた。
- ・電動ベッドや介護用品など、必要な物品を計画的に購入することができた。
- ・特殊介護浴槽を2台購入したことで、ご利用者に心地よい入浴を楽しんでいただけるようになった。
- ・2号館エレベーターのリニューアルにより、安心・安全・快適な移動が可能となった。
- ・補助金を活用し防災倉庫の設置と必要な防災用品の追加購入ができた。

(6) 生活相談員部門

①地域との交流窓口について

- ・地域の夏祭りへの参加。また、災害ワーキングをファミリー清掃に重ねて企画し、地域の方、ご家族への参加を呼びかけ、大規模災害に備え様々な物資や備品の使い方も共有できた。
- ・踊りや清掃、高齢者との触れ合い、インターンシップ、行事のお手伝い等のボランティアを受け入れ地域との交流を行った。

②ご利用者・ご家族との相談窓口と専門性を深める

- ・年末年始の外出や外泊時の送迎の相談には、可能な限り対応できた。
- ・「生活相談員研修会」に参加して特別養護老人ホームでの生活相談員のあり方について学び、令和2年度に活かすよう話し合いを行った。来年度は地域交流の考え方を改めて行く方向で進めたい。

③ 家族会相談窓口について

・「やすらぎファミリー」の窓口となり、ご家族と共に、納涼祭のイベントや行事、年2回の施設内清掃を行なった。また、年2回「家族懇談会」を開催し、ご家族から意見・要望を頂く事が出来た。又、施設からの報告を周知することができた。今年度は秋の災害ワーキングをファミリー清掃に重ねご家族と一緒に施設での災害時の対応を考える事が出来た。

④ 入所希望者・待機者の相談窓口について

・入所を希望される方については、当施設の見学を勧め、料金を含めた施設の説明を行なった。入所待機されている方については、可能な限り待機場所へ調査に伺い、当施設での生活が可能かどうかの調査を行なった。施設での目標退所者が出てから新規入所迄の空白日数一週間をクリアできた。

・今年度はショートステイご利用者が入所へとつながった事で、ご家族は慣れた場所での生活という事で安心との声が聞かれた。職員もご利用者の状態を理解した中での受け入れであったのでスムーズな流れを作ることが出来た。

平成 31 年度 やすらぎの家 入所者状況 (やすらぎの家 ご利用者状況)

市町村	高知市	土佐市	須崎市	香南市	中芸広域	南国市	佐川町	いの町	中土佐町	本山町	黒潮町		計
男	19	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		21
女	73	3	0	1	0	1	1	1	3	1	1		85
計	92	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1		106

*令和2年3月31日現在

年齢別人員

性別	～64	65～74	75～84	85～94	95～105	合計	最高	平均
男	1	4	6	10	0	21	92	80.5
女	0	9	11	46	19	85	100	88.4

*令和2年3月31日現在

入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者	男	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	女	2	3	2	2	0	3	2	1	1	3	1	1
	計	3	4	2	2	0	3	3	1	2	3	1	1
所退	男	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

	女	4	1	2	3	1	3	2	2	1	3	1	1
	計	4	2	2	3	1	4	2	2	1	3	1	1
月末人員	男	19	20	20	20	16	19	20	19	19	21	21	21
	女	80	84	81	80	79	76	82	80	80	82	83	81
	計	99	104	101	100	95	95	102	99	99	103	104	102

サービス利用状況

		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	延べ	0	81	568	1713	656
	実利用	0	3	20	58	23
5月	延べ	0	93	644	1849	605
	実利用	0	3	21	61	21
6月	延べ	0	90	630	1770	690
	実利用	0	3	21	59	23
7月	延べ	0	92	680	1699	682
	実利用	0	3	22	57	23
8月	延べ	0	81	602	1723	713
	実利用	0	3	21	57	25
9月	延べ	0	65	571	1641	642
	実利用	0	3	20	59	24
10月	延べ	0	55	475	1946	718
	実利用	0	2	16	64	24
11月	延べ	0	28	506	1667	778
	実利用	0	1	17	60	27
12月	延べ	0	28	519	1755	780
	実利用	0	1	18	59	28
1月	延べ	0	31	619	1763	747
	実利用	0	1	21	58	26
2月	延べ	0	29	591	1575	794
	実利用	0	1	21	56	28
3月	延べ	0	31	620	1695	853
	実利用	0	1	20	57	28

平成 31 年度 ボランティア・施設見学等来園者状況

来園月日	団体（個人）名	来園目的	人数
4月13日	やすらぎファミリー	懇談会	29名
6月2日	やすらぎファミリー	館内清掃	20名
	なかよし会	歌	7名
8月2日	やすらぎファミリー	納涼祭手伝い	3名
	平成福祉専門学校	納涼祭手伝い	20名
8月17日	祭三代・IKU	鳴子踊り	26名
9月6日	くじら連ふくし丸	鳴子踊り	8名
9月16日	JA朝倉支所女性部	敬老の日行事 歌と踊り	24名
10月19日	やすらぎファミリー	懇談会	22名
11月16日	やすらぎファミリー	館内清掃	15名
11月27日	朝倉中央保育園	利用者との交流	30名
	木の丸保育園	利用者との交流	26名
12月3日	NTT OB	車椅子清掃	18名

*上記以外でも、裁縫ボランティアの方、高知商業高校の学生たちがクラス単位で、施設体験のため来園されています。隣接する「平成福祉専門学校」の学生は授業の一環として、また、介助ボランティアとして来園しご利用者の方々と触れ合っています。

やすらぎの家 研修参加状況

月	日	開催地	研修会名	研修内容	主催者	人数
4	1	やすらぎの家	内部研修	訓示・31年度事業計画	やすらぎの家	全職員
	12	高知市	高知県福祉・介護職員 合同入職式		高知県	2
	19	やすらぎの家	内部研修	事故防止委員会	やすらぎの家	介護職員 ケアマネ 相談員
	23～24	やすらぎの家	内部研修	ノーリフトケア技術 伝達研修	やすらぎの家	介護職員
	25	やすらぎの家	内部研修	介護の記録伝達研修	やすらぎの家	介護職員
5	16	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア	やすらぎの家	介護職員
	21	高知市	新任職員研修	ステップ1		2
	27	やすらぎの家	内部研修	ノーリフトケア技術 伝達研修	やすらぎの家	介護職員

	28、30	やすらぎの家	内部研修	身体拘束廃止・虐待防止委員会	やすらぎの家	全職員
6	1	高知市	在宅医療・介護連携推進他職種研修会	居宅サービス事業所における医療ニーズの高い人の支援	高知市医師会	4
	7	やすらぎの家	内部研修	ノーリフトケア技術伝達研修	やすらぎの家	介護職員
	10	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア	やすらぎの家	介護職員
	11、14	やすらぎの家	内部研修	感染症予防員会 食中毒予防・手指消毒	やすらぎの家	介護職員
	12	高知市	認知症介護基礎研修	認知症の人の理解と対応の基本	高知県社会福祉協議会	1
	19、24	高知市	県介護事業所認定評価制度支援セミナー		高知県地域福祉部	4
	24、27	やすらぎの家	内部研修	不適切ケア防止	やすらぎの家	全職員
	25	高知市	認知症介護実践者研修	認知症への理解	高知県社会福祉協議会	2
7	3～4	高松市	第68回四国老人福祉施設関係者研究大会	つながる人・つくる地域・つづく未来	四国老人福祉施設協議会	5
	8	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア	やすらぎの家	介護職員
	9～10	高知市	認知症介護実践者研修	認知症への理解	高知県社会福祉協議会	2
	10	高知市	中央Bブロック介護職員勉強会	ノーリフトケアを主体とした施設見学	高知県老施協	5
	13	高知市	認知症と薬について	認知症の薬の効果や副作用について	高知県介護福祉士会	2
	13～14	高知市	ふくし総合フェア		高知県社協	5
	17、23	やすらぎの家	内部研修	事故防止委員会 離設事故防止	やすらぎの家	全職員
	21	高知市	高知県口のリハビリテーション研究会	口のリハビリテーション その原点に返ってこれから何をすべきか	口のリハビリテーション研究会	2
	26	高知市	福祉職場の先輩職員研修	相談し、相談される人になる	高知県介護福祉士会	2
	29	高知市	サマーカレッジ2019	私たちが目指す個別	秦ダイヤライ	1

				ケアの考え方と手法	フ福祉会	
8	6	高知市	県介護事業所認定評価 制度支援セミナー		高知県地域福 祉部	4
	7	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア	やすらぎの家	介護職員
	8	やすらぎの家	内部研修	認知症と薬について	やすらぎの家	介護職、相談 員、ケアマネ
	20	高知市	県介護事業所認定評価 制度支援セミナー		高知県地域福 祉部	3
	20	高知市	食中毒対策セミナー		高知市保健所	1
	20～ 23	高知市	認知症介護実践者研修	実践リーダー研修	高知県社会福 祉協議会	1
	24	高知市	2019年度高知県介護福祉 士会CVPPPについて	暴力行為への理解と 実際の取組み	高知県介護福 祉士会	2
	28	高知市	認知症介護実践者研修		高知県社会福 祉協議会	2
	31～ 9/1	徳島市	日本介護支援専門員協 会全国大会		日本介護支援 専門員協会	2
9	9	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア		介護職員
	9	高知市	福祉サービス苦情解決 セミナー		高知県社会福 祉協議会	1
	12	高知市	中央Bブロック相談 員・ケアマネ研修会		高知県老施協	2
	13	高知市	レジオネラ属菌汚染防 止対策委員会		高知県健康福 祉部	1
	17	高知市	認知症介護実践者研修	実践リーダー研修	高知県社会福 祉協議会	1
	17	高知市	地域共生社会・社会資 源情報収集事業に関する説明会		高知市健康福 祉部	2
	24	高知市	高齢者・障害者虐待防 止・権利擁護		高知県社会福 祉協議会	1
	26	高知市	尊厳の保持と自立支援		高知県老施協	2
	26	高知市	中央Bブロック相談 員・ケアマネ研修会		高知県老施協	2
	30	高知市	ケアステップ研修	感染症予防の基礎	高知県老施協	2
10	1	高知市	認知症介護基礎研修	認知症の人の理解と	高知県社会福	2

				対応の基本	祉協議会	
	7	やすらぎの家	内部研修	排泄ケア	やすらぎの家	介護職員
	10	高知市	認知症介護実践者研修	実践リーダー研修	高知県社会福祉協議会	1
	18	高知市	高知家統一基本ケアセミナー		ナチュラルハート	2
	29	やすらぎの家	内部研修 高知市介護保険課出張講座	身体拘束廃止・虐待防止委員会「高齢者虐待への気づき」	やすらぎの家	介護、相談員 看護師、 ケアマネ
11	6、 11	やすらぎの家	内部研修	感染症予防委員会 「感染症予防対策」 嘔吐処理	やすらぎの家	介護、相談員 看護師、 ケアマネ
	11	高知市	認知症介護実践者研修	実践リーダー研修	高知県老施協	1
11	11	高知市	認知症介護実践者研修	認知症の人の意思決定について考える	高知県社会福祉協議会	4
	15	やすらぎの家	内部研修 高知市出前講座	安全衛生委員会 「本当は怖い歯周病」	やすらぎの家	全職員
	20～ 21	水戸市	第76回全国老人福祉施設大会 茨木		全国老施協	3
	20	やすらぎの家	内部研修 アテント外部講師	がんばらない介護生活を考える会	やすらぎの家	全職員
	21～ 22	高松市	第30回中四国地区社会福祉法人経営者セミナー		全国経営協	3
	23	高知市	高知市エリア医療関連 感染対策研修会		高知市保健所 地域保健課	3
	30～ 12/1	高知市	施設ケアマネ実践講座		ふくいの居宅	2
12	3	高知市	第3回食と栄養の会		食と栄養の会	2
	17	高知市	働き方改革マニュアル 活用セミナー		高知県商工労働部	3
1	21	高知市	ケア基本研修	尊厳の保持と自立支援	高知県老施協	1
	24	高知市	第27回西部地域医療 カンファレンス	排泄について学ぶ 医療・看護・介護から	西部地域医療カンファレンス実行委員会	3
	25	高知市	ノーリフティングケア		日本ノーリ	5

			技術教育		フト協会	
	30	高知市	ケア基本研修	介護技術	高知県老施協	1
2	3	高知市	内部研修 外部講師(四国電力、保安協会)	電気の安全講習会	やすらぎの家	全職員
	14	高知市	法人研修 外部講師	認知症と薬のケア 数井裕光医師	長い坂の会本部	全職員
	17	高知市	認知症ミニ研修	認知症の原因・症状・対応を学ぶ	高知県社会福祉協議会	2
	19	やすらぎの家	内部研修	ノーリフト研修	やすらぎの家	介護職員
3	9	やすらぎの家	内部研修	ノーリフト研修	やすらぎの家	介護職員

2 短期入所生活介護（ショートステイ）

短期入所生活介護（ショートステイ）の受け入れ窓口として思いやりを持った対応を心がけ、在宅で生活されている方々の日常生活動作の維持という観点を大切にし、ご利用者・ご家族共に安心してショートステイのサービスを利用していただけよう努めた。認知症の方が、住み慣れた自宅から環境の違うショートステイで穏やかに過ごして頂ける様に受け入れグループと話し合いを持ち、居宅ケアマネと調整を行い継続してショートステイを利用する事が出来た事例もあった。可能な限り在宅生活の継続ができるよう、在宅での生活習慣に近いサービスの提供に努め、介護スタッフの協力の元、個別ニーズに応えることができた。

話しやすい・相談しやすい窓口としての役割に努め、ご家族との関わりを大切にした。利用中の様子のこまめな報告や、必要と判断された場合は、ご家族に相談の上、病院受診の援助も行なった。居宅介護支援事業所の介護支援専門員やサービス提供事業所と連携を図り、ご利用者の状態把握に努めた。

平成 31 年度 やすらぎの家（短期入所）サービス利用状況(介護保険請求者数による)

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	延べ			31	69	76	98	16	290
	実利用			4	6	6	10	3	29
5月	延べ			32	35	127	113	17	324
	実利用			3	5	12	10	3	33
6月	延べ			32	35	127	113	17	324
	実利用			3	4	11	10	3	31

7月	延べ			22	45	129	124	19	339
	実利用			3	5	11	10	2	31
8月	延べ			25	45	122	110	18	320
	実利用			3	4	10	9	2	28
9月	延べ			22	44	111	109	18	304
	実利用			4	5	10	9	2	30
10月	延べ			37	39	110	95	24	305
	実利用			4	5	12	9	4	34
11月	延べ			27	48	110	98	23	306
	実利用			5	6	12	10	3	36
12月	延べ			32	46	132	131	12	353
	実利用			4	5	12	10	2	33
1月	延べ			22	58	108	89	11	288
	実利用			5	5	9	9	2	30
2月	延べ			56	58	87	78	20	273
	実利用			9	4	9	9	3	34
3月	延べ			43	47	59	104	20	273
	実利用			6	3	7	11	2	29
合計	延べ			338	525	1213	1146	203	3698
	実利用			53	57	121	116	31	378

3 グループホーム ほのぼのの家

- ① 日常の家事動作に参加して頂けるような工夫や取組みは個々の能力に合わせて十分ではないが行う事が出来た。
- ② ご家族や地域の方々の協力も得られ、余暇活動や外出支援の充実は図る事が出来た。
- ③ ご家族様にも年間行事や家族会等に参加して頂き、意見交換等を行う事が出来た。
- ④ 体調不良時等には関係医療機関や訪問看護との連携を図り、早目の病院受診等を行う事が出来た。
- ⑤ ボランティアの方々にも様々な内容等（折り紙・カラオケ・紙芝居・生花・化粧）で定期的に来所して頂き、楽しい一時を過ごす事が出来た。地域住民の方々にも餅つき等に参加して頂き又、地域清掃や防災訓練に参加する事で地域との関わりを持つ機会が出来た。
- ⑥ 職員研修については、内・外部研修とも参加者が少なく、研修後の伝達研修等も十分に行えていなかったため、計画的に研修に参加出来るように取り組んで行く。

(1) 利用状況

介護状態		入居者年齢別		入居前状況		日常生活自立度		認知症の程度	
要介護1	1名	86歳-90歳	6名	自	5名	J1	1名	I	1名
要介護2	2名	91歳-95歳	3名	宅	1名	A1	2名	Ⅱb	2名
要介護3	6名			老	1名	A2	4名	Ⅲa	4名
要介護4	0名			健	2名	B2	2名	Ⅲb	1名
要介護5	0名			病院				Ⅳ	1名
				その他					

日常生活動作状況

	歩行	食事	入浴	着脱	排泄
自力	2名	8名		1名	2名
一部	7名	1名	8名	7名	6名
車椅子					
全介助			1名	1名	1名

(2) 入退所者・入退院者状況

	入所者	退所者	入院者	退院者
4月				
5月			1名	1名
6月				
7月		1名	2名	1名
8月	1名		1名	
9月	1名	1名	2名	
10月			1名	1名
11月				
12月				
1月			1名	1名
2月				
3月				

入院者数7名、インフルエンザ（A型）感染者7名（入院はなし）

(3) 活動状況

月	活動名	人数	月	活動名	人数
4	花見（枝川公園・針木浄水場公	9名	10月	春陽荘秋祭り	8名

月	園)			外出 (買い物)	9名
				遠足 (西島園芸団地)	8名
5月	遠足 (桂浜水族館)	9名	11月	文化祭 (平成福祉)	9名
				外出 (買い物)	6名
6月	紫陽花見物	7名	12月	餅つき	9名
	防災訓練	9名		外出 (買い物)	6名
	外出 (買い物)	8名		クリスマス会	9名
				木の丸保育園児との交流	9名
7月	外出 (買い物)	2名	1月	新年会	9名
8月	納涼祭 (やすらぎの家)	8名	2月	節分	8名
9月	敬老会・家族会	2名	3月	花見ドライブ	8名
	さんま大会(防災の炊き出し)	8名		(針木浄水場公園)	

その他の活動

週1回	生け花クラブ	7名
月1回	ビューティーボランティア	8名
月2回	ボランティア (折り紙・カラオケ・紙芝居)	8名
誕生月	誕生会	9名

(4) 内部研修状況

研修名「内部研修」	開催日	場 所	参加者
身体拘束廃止、虐待防止委員会	5/28.30	平成福祉専門学校講堂	8名
感染症対策	6/11.14	くつろぎホール	6名
がんばらない介護生活を考える会新人研修Ⅱ	12/7	平成福祉専門学校講堂	1名

(5) 外部研修参加状況

研修名	開催日	開催者	場所	参加者
自立を目指すケア研修会	6/24~11/18	高知市高齢者支援課	高知市保健福祉センター	1名
認知症の治療とケア	8/30	朝倉病院	朝倉病院	2

				名
ノーリフティングケア マイスター養成研修	9/24	日本ノーリフト協会高 知支部	かわさき予備校ビル 3 階	1 名

[2] うららか春陽荘関連事業

[総括]

特養の運営に関しては入院治療を必要とするご利用者が多く、平均稼働率が 93.68%と厳しい結果となったが、各種委員会と介護・医療スタッフの連携により、肺炎や尿路感染症を減少させることができたことは一定の成果である。また、ノーリフティングケア推進チームの活動による適切な福祉機器と介助方法の実施の結果、ご利用者の筋緊張の緩和（表情が和らいだ・関節の動きが良くなった等）や職員の心身のリラックス（腰痛頻度の減少・介助時の不安軽減等）につながっている。

在宅事業については居宅介護支援事業所や関係機関との連携により安定した運営に努めたが、今年から全国に流行している新型コロナウイルスにより、サービスの利用を控える傾向があり 3 月の稼働率低下につながった。

うららかキッズガーデンについては 4 月から 12 月までは定員である 11 名の園児の利用があり、97.76%の稼働率となった。

その他の取り組みとして、働きやすさと働きがいを実感できる魅力ある職場である「福祉・介護事業所認証評価制度」（高知県）の申請により認証を受けた。また平成 28 年度より「南海トラフ地震対策優良取組事業所」（高知県）の認証事業所となっており、今年度の更新にて再度最高ランクの 5 つ星を取得できたことは、これまでの活動が評価されたこととなり、事業運営に対する大きな自信につながった。

1 特別養護老人ホームうららか春陽荘

ノーリフティングケアの考え方を元に、日々のご利用者へのケアを実施した。特に現場でのケアの再確認のため、「ノーリフティングケアの必要性」について全職員に研修と試験を実施し、根拠づいたケアの提供に努めた。

「ノーリフティングケア実践に対する職員の評価」

- * ご利用者の原因不明の表皮剥離や内出血が減少した
- * 身体の疲れが以前に比べ軽減した
- * 腰痛の頻度や度合いが軽減した
- * 介助時のご利用者の表情が和らいだことが嬉しい
- * 移動・移乗介助が楽になった
- * ご利用者の膝関節の拘縮が緩和された

生活機能訓練に関しては人員的な課題や下半期は感染症などの都合により、特養全体では十分に実施することができなかった。しかし、各ユニットが独自で作業室やユニット内での活動を継続し、ご利用者の心身機能の維持・向上へ取り組んだ。

入所者の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 保険者別人員

	高知市	土佐市	香南市	いの町	仁淀川町	佐川町	日高村	計
男性	25	1	2	0	1	0	0	29
女性	45	2	0	2	0	1	1	51
計	70	3	2	2	1	1	1	80

(2) 年齢別人員

	～65	65～75	75～85	85～95	95～105	計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男性	1	2	3	21	2	29	87.5	96	59
女性	1	5	12	22	11	51	87.9	102	63
計	2	7	15	43	13	80	87.8		

(3) 入退居者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	男性	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	8
	女性	1	1	2	1	1	2	1	4	3	1	0	1	18
	計	2	2	2	2	3	3	2	4	3	1	1	1	26
退居	男性	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0	1	0	7
	女性	1	2	1	3	3	1	2	1	3	1	1	0	19
	計	2	3	1	3	3	2	2	4	3	1	2	0	26

2 居宅介護支援事業所はるの

地域ケア会議へ毎月参加し、春野地域の多事業・多職種での事例検討を通じ、課題分析力と解決力を高めることができた。自事業所の事例にアドバイスをもらったり、他事業所の事例にアドバイスをしたりと、地域の事業所との相互の協力関係やネットワークの構築にもつながり、総合的なマネジメント力向上にもつながった。

3 デイサービスセンターはるかぜ

デイサービス内での活動が画一的なものとならないように、活動目的別の部屋を活用し、可能な限りご利用者の個別性にアプローチを継続した。リハビリルームでの活

動により歩行状態が安定するなどの変化がみられるご利用者や、併設保育所の園児への紙芝居の読み聞かせ、寄贈のための手縫いの雑巾づくりなどに主体的に取り組む姿などがみられ、ご利用者の心身の活性化につながった。

4 デイサービスセンターそよかぜ

介護の根拠となるご利用者ごとのシート（ベストケア表）の作成に取り組んだが、記載方法や活用方法に不明確な部分があり、十分に活用することができなかった。しかし、個々のご利用者へチームでアプローチするという、個別性への意識付けとしては意味のあるものとなった。

5 短期入所生活介護うららか春陽荘（ショートステイ）

ご利用者の心身機能の活性化を目的とし、毎日（午前・午後と各一回）ユニット前作業室にて体操やヨガを中心に活動し、多くのご利用者に参加して頂いた。自宅（ユニット）から体操教室（作業室）へ出かけるような環境と体制づくりの結果、ご利用者自ら時間になると作業室へ出かけ活動の準備をするなど、意欲や積極性の向上へとつながった。また、活動場所を変更したことでユニット内のざわつきがなくなり、参加していないご利用者は落ち着いて過ごすことができるというメリットもあった。

6 高齢者住宅等安心確保事業（横浜ニュータウン）

事業対象 30 世帯の入居者に対して安心な生活の提供のため日々のコミュニケーションや安否確認を中心に活動し、玄関戸や電灯の不具合等、生活環境の困りごとに対しては住宅管理会社、心身の状況については居宅介護支援事業所等の関係機関と連携に努めた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活指導	実	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	延	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
安否確認	実	32	30	30	30	29	2	28	28	28	27	27	27	318
	延	405	358	375	380	306	322	354	310	351	332	328	382	4203
家事援助	実	13	12	9	10	11	12	8	12	9	3	11	13	123
	延	129	108	93	105	110	92	104	108	99	118	89	110	1265
緊急時 対応	実	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	1	2	11
	延	0	0	0	0	2	2	1	1	1	2	1	2	12
関係機関 との連絡	実	2	0	1	0	1	1	0	2	0	1	0	1	9
	延	2	0	1	0	1	1	0	2	0	1	0	1	9

その他	実	5	5	5	5	0	6	5	5	5	5	4	0	50
	延	15	16	13	17	0	21	17	15	20	11	16	0	161

7 うららかキッズガーデン

園児の発達状況と個性に応じた保育計画を作成し、日々の記録・毎週評価を行うことにより個別保育を実践した。保護者とは送迎時や連絡帳を通して、家庭と園での様子を共有し、「一緒に子育てをする」という環境づくりを行った。一方、子育てについての相談をしてくれる保護者数が例年より少なかった。その要因は定かではないが、次年度から子育て相談担当者を配置し、気軽に相談できる体制をつくり保護者支援につなげていく。

8 年間行事実施状況

月	施設内行事	ボランティア等
4月	家族会	
5月	紫陽花鑑賞	「ブルースカイ」バンド演奏
6月		「ミュージックラバー」バンド演奏
7月	鰻の蒲焼実演・流しそうめん 七夕飾りつけ（うららか保育園）	「なかよし会」演奏・歌 「コーラス ほほほ」歌
8月		「くじら連」よさこい鳴子踊り 「オペラ」アコーディオン演奏 「ムジカトゥッティ」コーラス
9月	敬老会	「コーラス大篠」コーラス 「筑前琵琶保存会」演奏・演舞
10月	うららか春陽祭（秋祭り） 芋ほり	
11月	美術展・焼き芋	
12月	餅つき・写真展	「平和幼稚園」
1月	初詣	
2月	節分（豆まき）	
3月		

9 各種委員会活動

(1) 事故防衛パトロール隊

介護事故件数（行政報告対象分）

	骨折事故（前年度）	服薬（前年度）
--	-----------	---------

特養	3 (4)	3 (6)
短期入所	1 (1)	3 (3)
デイサービス	0 (0)	3 (0)

介護事故防止を目的に研修開催や啓発に取り組んだが、結果的には数件の事故が発生した。骨折要因についてはご利用者の日常的な動作の中での転倒・転落となっており、事故減少に向けてご利用者の日々の状態の把握や環境面の整備等の課題への取り組みを継続する。服薬事故は特養で半減しているものの、全体で9件と決して少なくない数字となった。

(2) 感染予防対策委員会

感染症発生数（特養 利用者）

疾患名	上半期	下半期	計	前年度	前年度比
肺炎（誤嚥性含む）	12	5	17	22	77.3%
尿路感染症	14	4	18	31	58.1%
蜂窩織炎	3	1	4	4	100%

高齢者に多くみられる感染症については、前年度と同等から最大約40%減と取り組みの成果が数字に表れた。肺炎についてはノーリフティングケアの考え方のもと、不良姿勢の改善や口腔ケアの徹底、その他についてはスキンケアに重点を置き感染症予防に取り組んだ。

1月には入居者にインフルエンザ感染が確認されたが、臨時委員会を開催し感染拡大予防策等について周知し、当該入居者は大事には至らず、その他感染者を出すことなく終息することができた。

(3) ケア向上委員会

高齢者虐待・身体拘束廃止を研修やグループ会での啓発などを通じ実施した。また、一般的に虐待の背景にあるとされている職員のストレスについてもアプローチし、「いいところミッケ♪カード」（普段なかなか伝えることのない「感謝の気持ち」「参考にあるケア」等をカードに記載し伝える）という取り組みを6月から試験的に実施した。職員がお互いにたくさんのポジティブな感情を持っていることが分かり、また受け取った職員もポジティブな感情につながった。仕事へのモチベーションアップと介護の品質向上へつながることを期待しており、次年度に本格的に取り組む計画とする。

(4) 褥瘡バスターズ委員会

褥瘡発生件数

褥瘡発生 件数 6件	施設内発生				退院時 持込 2件	踵部 1件		肘 腹部 1件	
	4件	大転 子部 2件	踵部 1件	仙骨部 1件		1件	1件		

褥瘡発生リスクを全ご利用者に毎月実施し評価に応じて予防策を実施したが、年間で4件の施設内発生となった。発生については、持続的な圧迫・下痢によるスキントラブル・栄養状態不良などの複合的な要因となっており、発生予防には全身状態の観察が極めて重要であると改めて認識した。発生後は速やかな医療と介護の連携により、全件年度内には治癒している。

(5) 災害対策委員会

一年を通し「災害後の避難生活」に焦点を当て、現在の対策状況と必要と思われる物資等の確認と検討を実施した。

「災害ワーキング」（防災研修）の開催について、施設内在籍の防災士有資格者が積極的に関わり、参加者への防災意識向上へつながった。また、高知県南海トラフ地震対策優良取組事業所の更新申請を行い、取り組みの評価として五つ星の認定を受けることができた。

(6) 美化委員会

委員会でユニット内を巡回した結果、水回りについて清掃が行き届いていない状況が確認できたため、委員が中心となり清掃し清潔に務めた。また、ハンディモップを購入し、業務の合間に気軽に清潔が保てるような環境づくりも行った。

(7) 安全衛生委員会

月	内容
4月	委員会の活動計画確認 職場巡視
5月	食中毒について
6月	熱中症・脱水症状について 健康診断の結果について
7月	更年期について
8月	ライフワークバランス

9月	ストレスチェック制度について
10月	職場巡視
11月	貧血について
12月	感染性胃腸炎・インフルエンザについて
1月	ストレスチェックの結果について
2月	歯の健康について
3月	年間のまとめ及び次年度議題案

(8) 研修委員会（ノーリフティング推進チーム）

研修実施状況

委員会	研修名	開催月
感染予防対策委員会	食中毒・手指衛生法	6月・7月
	インフルエンザ・ノロウイルス 感染症対策	10月
事故防衛パトロール隊	事例検討会	8月
	ヒューマンエラーについて	2月

ノーリフティングケア講座受講（高知県認定資格取得）

研修名	受講人数
高知家ノーリフティング リーディングマイスター養成講座	1名
高知家ノーリフティング マイスター養成講座	9名
高知家ノーリフティング リーディング技術教育リーダー養成講座	4名
高知家ノーリフティング 技術教育リーダー養成講座	9名

- * 新規採用職員については座学と技術指導を実施。
- * 床走行式リフトの技術試験を実施し、介護職員全員が一定の基準をクリアした。
- * 腰痛アンケートの実施により、職員の状況を把握した。

10 事業別活動実績

(1) 特別養護老人ホームうららか春陽荘（稼働率） (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----

94.71	90.36	92.38	93.75	93.15	92.04	96.17	93.33	93.23	95.08	95.30	94.64	93.68
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(2) 短期入所生活介護うららか春陽荘 (稼働率) (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
95.67	96.29	92.17	92.10	97.42	94.67	95.97	96.00	89.52	92.58	90.86	83.71	93.08

(3) 居宅介護支援事業所はるの (達成率) (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
89.54	90.85	88.89	88.89	82.35	106.67	108.33	105.00	105.00	103.33	104.17	101.67	97.89

(4) デイサービスセンターはるかぜ (稼働率) (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
82.11	81.40	85.78	90.43	81.18	82.44	86.02	88.78	88.17	81.72	82.22	81.83	84.34

(5) デイサービスセンターそよかぜ (稼働率) (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
70.28	69.89	71.67	65.32	74.46	85.00	78.76	78.61	78.49	69.09	68.39	69.35	73.28

(6) うららかキッズガーデン (稼働率) (%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
100	100	100	100	100	100	100	100	100	90.9	90.9	90.9	97.76

11 研修参加状況

(1) 特別養護老人ホームうららか春陽荘 (短期入所含)

月	日	開催地	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
	1	春陽荘	平成31年度事業計画について	諸規定変更及び職員倫理	うららか春陽荘	61
	12	春陽荘	内部研修	救命法について	うららか春陽荘	24
4	23	高知市	2019年度高知県老人福祉施設協議会総会について	人材確保と外国人介護人材定着に向けて	高知県老人福祉施設協議会	1
	25	高知市	すこやか春野ふれあい交流実行委員会	第5回すこやか春野ふれあい交流会	春野地区社会福祉協議会	1
5	13	春陽	内部研修	救命法について	うららか春陽荘	23

		荘				
	20	春陽 荘	内部研修	リフト研修	うららか春陽荘	9
	22～ 28 6/7	春陽 荘	内部研修	身体拘束廃止、虐待防止	ケア向上委員会	62
6	5	高知 市	チェアヨガインストラクター養成講座	チェアヨガの必要性、重要性（特に車椅子や寝たきりの方に対応）	(社)日本福祉人材育成協会	1
	7	高知 市	食と栄養の会 総会	平成30年度事業報告・決算報告等について	高知県食と栄養の会	2
	10	高知 市	高知家統一基本セミナー	地域を知る組織とチーム権利擁護介護予防防災	ナチュラルハートフルケアネットワーク	1
	11	高知 市	福祉職場の新任職員研修 ステップ1	福祉サービスの基本理念と福祉職員の心構え	高知県社会福祉協議会	3
	12	高知 市	認知症介護基礎研修	認知症の人の理解と対応の基本	高知県社会福祉協議会	1
	13	いの 町	中央Bブロック生活相談員・介護支援専門員合同勉強会	介護報酬一部改定について	高知県老人福祉施設協議会	3
	26	高知 市	高知家統一基本セミナー	健康管理食・口腔ケアスキンケア見え・聞こえ・伝え認知症	ナチュラルハートフルケアネットワーク	1
	24～ 28	春陽 荘	内部研修	食中毒・手洗い研修	うららか春陽荘	47
	25～ 28	高知 市	認知症介護実践者研修 『実践者研修』	認知症ケアの基本的視点と理念	高知県社会福祉協議会	1
	29～ 30	高知 市	リーディング指導者養成研修	ノーリフティング研修	ナチュラルハートフルケアネットワーク	4
7	3～4	高松 市	第68回四国老人福祉施設関係者研究大会	～つながる人 つくる地域 つづく未来～	四国老人福祉施設協議会	6
	6	高知	リーディング指導者	ノーリフティング研修	ナチュラルハー	2

		市	養成研修		トフルケアネットワーク	
	8	春陽 荘	内部研修	食中毒・手洗い研修	うららか春陽荘	15
	9~10	高知 市	認知症介護実践者研修 『実践者研修』	アセスメントとケアの実践 の基本Ⅰ・Ⅱ	高知県社会福祉 協議会	1
	10	高知 市	中央ブロック介護職員勉強 会	ホリフケアを主体とした勉強 会	高知県老人福祉 施設協議会	4
	10	高知 市	南海トラフ地震臨時 情報説明会	国が定めた事業者向けのガ イドライン	高知県高齢者福 祉課	2
	13	高知 市	ふくし総合フェア研 修	スタンディングリフトで変 わるケアの質	高知県社会福祉 協議会	2
	14	高知 市	ふくし総合フェア研 修	多職種で実施する車いすシ ーティング	高知県社会福祉 協議会	8
	20~ 21 8/3~ 8/4	高知 市	介護支援専門員更新 研修 研修課程Ⅱ	介護保険制度及び地域包括 ケアシステムの今後の展開	高知県社会福祉 協議会	3
	26	高知 市	福祉職場の先輩職員 研修	これまでの実践と後輩との 関わりの振り返り	高知県社会福祉 協議会	3
	31	安芸 市	南海トラフ地震対策 優良取組事業所認定 の更新説明会	更新説明会	高知県危機管理 部 南海トラフ地震 対策課	2
8	1・24 9/5	高知 市	ノーリフティング人 材養成研修	技術教育リーダー養成	高知県地域福祉 政策課	10
	2・25 9/24	高知 市	ノーリフティング人 材養成研修	マイスター養成	高知県地域福祉 政策課	7
	17	高知 市	高知家統一基本ケア セミナー	地域を知る組織とチーム権 利擁護介護予防防災	ナチュラルハー トフルケアネッ トワーク	1
	19	高知 市	介護職員等特定処遇 改善加算に関する説 明会	特定処遇改善加算について	高知県老人福祉 施設協議会	1
	22	高知	直前予知と事前避難	南海トラフ地震に関する	NPO法人南海	1

		市	を考える学習会	国・地方自治体の対応方法について	トラフ地震直前 予知連絡会	
	24	高知市	サマーカレッジ 2019	特別養護老人ホームにおける個人ケアのガイドライン	(社) 秦ダイヤライフ福祉会	4
	30	高知市	令和元年度 第1回研修会	認知症の治療とケア	ASUNARO 教育委員会	4
	30	春陽荘	内部研修	排泄ケア研修	うららか春陽荘	9
9	9	高知市	令和元年度福祉サービス苦情解決セミナー	各施設の苦情解決体制、対応について	高知県社会福祉協議会	1
	11	高知市	食と栄養の会	給食施設における危機管理	高知県食と栄養の会	2
	12	春陽荘	中央Bブロック生活相談員・介護支援専門員合同勉強会	感染対策の取り組みについて	高知県老人福祉施設協議会	4
	20	高知市	「家族からのヘビークレームへの対応策」研修会	限度を超えた家族要求から職員を守るには	高知市介護保険課	1
	25～26	東京	第46回国際福祉機器展	福祉機器の選び方、使い方	(財)保健福祉広報協会	2
	26	高知市	ケア基本研修	尊厳の保持と自立支援	高知県社会福祉協議会	4
	26	高知市	中央ブロック介護職員勉強会	ノーリフトケア導入における課題等について意見交換	高知県老人福祉施設協議会	2
	27	高知市	高知県福祉・介護新任職員フォローアップ研修会	自分の持ち味を再発見しよう	高知県地域福祉政策課	3
	27	高知市	はるの大好き！スズメ元気会理事・監事候補者会および委員会	集落活動センターの事業説明	高知市社会福祉協議会	1
10	1	高知市	令和元年度認定調査員現任研修会	認定調査と審査会の役割について	高知県高齢者福祉課	1
	3	高知市	ケア基本研修	介護の基本	高知県社会福祉協議会	3
	9～10	いの	高知県高齢者虐待防	要介護施設従事者等による	高知県社会福祉	4

		町	止・権利擁護中堅職員研修	高齢者虐待の予防と養護者による虐待の早期発見、チームアプローチ	協議会	
	15	高知市	中堅職員ファーストステップ研修	中堅職員の立場と役割	高知県社会福祉協議会	2
	18	高知市	中央ブロック栄養士勉強会	経管栄養の選択方法	高知県老人福祉施設協議会	2
	21	高知市	高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修	権利擁護の最新を学ぶ	高知県社会福祉協議会	2
	25	高知市	西部地域医療カンファレンス	高齢者の排尿障害	西部地域医療カンファレンス実行委員会	1
	28～29	高知市	指導的職員研修	現場の中核的職員としての役割とマインドを学ぶ	高知県社会福祉協議会	6
	29～30	松山市	全国老人福祉施設研究会議（愛媛会議）	飛躍する令和の介護	全国老人福祉施設協議会	6
11	1	高知市	ASUNARO 教育委員会	看取りについて	（医）朝倉病院	4
	4	高知市	認知症を生きる	認知症診療・ケアの新展開	認知症の人と家族の会 高知県支部	1
	7	高知市	中堅職員ステップアップ研修	後輩指導・育成における課題と自己分析	高知県社会福祉協議会	2
	11・14	春陽荘	内部研修	アテントマイスター・プロ	うららか春陽荘	14
	11・14	春陽荘	内部研修	排泄ケア出前勉強会	うららか春陽荘	13
	15・18	春陽荘	内部研修	インフルエンザ・ノロウイルスについて	うららか春陽荘	37
	19	高知市	人材育成セミナー	排泄について	ナチュラルハートフルケアネットワーク	2
	21	高知市	ASUNARO 教育委員会	薬に頼らない排便サポート	（医）朝倉病院	6
	22	高知	ケア基本研修	医療職との連携	高知県社会福祉	4

		市			協議会	
	23	高知市	高知市エリア医療関連感染対策研修	感染症対策について	高知市保健所	3
	27	高知市	中間管理職育成向上研修会	組織の育成風土醸成の為に	高知県老人福祉施設協議会	2
	29	高知市	事業者向け『防災研修』	南海トラフ地震を想定した研修	高知市介護保険課	2
12	2	高知市	高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修	権利擁護の視点を中心としたチーム作り、マネジメント	(社)高知県社会福祉協議会	3
	9	高知市	福祉施設・事業所の『働き方改革』	法令改正への確実な対応	(社)高知県社会福祉協議会	1
	12	高知市	中央Bブロック生活相談員;介護支援専門員合同勉強会	防災について	高知県老人福祉施設協議会	4
	14~15	高知市	高知県防災士養成講座・普通救命講習	防災士養成講座	高知県危機管理部南海トラフ地震対策課	1
	17	高知市	働き方改革マニュアルセミナー	働き方改革のマニュアル・動画を用いて職場で活用する	高知県商工労働部雇用労働政策課	3
	21	高知市	高知県自主防災組織人材育成研修	南海トラフ地震に対する備え	高知県危機管理部南海トラフ地震対策課	1
1	8	高知市	高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修	権利擁護の視点を中心としたチーム作り、マネジメント	(社)高知県社会福祉協議会	3
	24	高知市	中央Bブロック栄養士勉強会	災害用の食材の備蓄一覧について	高知県老人福祉施設協議会	1
	24	高知市	西部地域医療カンファレンス	排泄について	西部地域医療カンファレンス実行委員会	3
	25	高知市	ノーリフティング人材養成研修	技術教育リーダー研修	日本ノーリフト協会高知支部事務局	2

	1/27 ～ 2/19	春陽 荘	内部研修	身体拘束・虐待防止について	ケア向上委員会	46
2	1～2	高知 市	高知家ノーリフティ ングフォーラム	介護ロボット高知フォー ラム	高知県社会福祉 協議会	9
	14	春陽 荘	法人研修	認知症について	(社)長い坂の会	41
	20	高知 市	社会福祉施設総合保 険制度説明会	令和2年度の社会福祉施設 総合保険制度について	高知県社会福祉 法人経営者協議 会	2
	21	高知 市	第2回高知県福祉・介 護新任職員フォロー アップ研修	ノーリフティングケアの必 要性	高知県地域福祉 政策課	2
	25	高知 市	ナチュラルハートフ ルケアネットワーク 特別セミナー	その皮膚が危ない	ナチュラルハー トフルケアネッ トワーク	1
	26	高知 市	介護職員が受けるハ ラスメント研修	介護職員の受けるハラスメ ントの実態と対応	高知県社会福祉 協議会	4
	26	高知 市	高知県老人福祉施設 協議会 栄養士研修会	災害時の食事提供について	高知県老人福祉 施設協議会	2
	27	高知 市	相談援助(ソーシャル ワーク)応用研修	生活の包括的理解に向けた 見方(エコシステム視座)	(社)高知県社会 福祉協議会	1
3	10	高知 市	新任職員研修ステッ プ3	福祉の職場でいきいきと働 くために	(社)高知県社会 福祉協議会	2
	17	高知 市	福祉職場の人材育成 セミナー	福祉職場の職員の確保と育 成	(社)高知県社会 福祉協議会	1

(2) 居宅介護支援事業所はるの

月	日	開催 地	研 修 会 名	研 修 内 容	主 催 者	参加 人数
5	18	高知 市	平成31年度定期総会	介護保険制度における法 令順守と職業倫理	高知市居宅介護支 援事業所協議会	1
6	1～2 7～8 22～	高知 市	高知県介護支援専門 員更新(専門)研修【研 修課程I】	ケアマネジメントにおけ る実践の振り返り及び課 題の設定	高知県社会福祉協 議会	1

	23					
7	7/6 ~7/7	高知市	高知県介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程Ⅰ】	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	高知県社会福祉協議会	1
	7/20 ~7/21	高知市	高知県介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程Ⅱ】	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	高知県社会福祉協議会	1
8	8/3~ 8/4	高知市	高知県介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程Ⅱ】	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	高知県社会福祉協議会	1
	22	高知市	直前予知と事前避難を考える学習会	南海トラフ地震に関する国・地方自治体の対応方法について	NPO法人南海トラフ地震直前予知連絡会	1
	25	高知市	ノーリフティング人材養成研修	マイスター養成	高知県地域福祉政策課	1
9	20	高知市	「家族からのヘビークレームへの対応策」研修会	限度を超えた家族要求から職員を守るには	高知市介護保険課	1
	25~ 26	東京	第46回国際福祉機器展	福祉機器の選び方、使い方	(財)保健福祉広報協会	1
10	16	高知市	10月南部ブロック会	特殊詐欺・免許返納・認知症患者の徘徊について	南部ブロック居宅介護事業所	1
	16	高知市	令和元年度高知県高齢者こころのケアサポーター養成研修	高齢者のメンタルヘルスについて	高知県社会福祉協議会	1
	25	高知市	西部地域医療カンファレンス	高齢者の排尿障害	西部地域高齢者カンファレンス実行委員会	2
11	13	高知市	11月南部ブロック会	発達障害について	南部ブロック居宅介護支援事業所	2
	22	高知市	南部地域ケアカンファレンス	引きこもり支援について	南部地域ケアカンファレンス実行委員会	3
	29	高知市	事業者向け『防災研修』	南海トラフ地震を想定した研修	高知市介護保険課	1
12	4	高知	認定調査員新規研修	要介護認定に関する基本	高知県高齢者福祉	1

		市	会	的な考え方	課	
	11	高知市	地域の介護支援専門員との意見交換会	現在業務に従事する上で対応に苦慮している点について	高知県高齢者福祉課	1
	18	高知市	12 月度南部ブロック会	摂食、嚥下障害について	南部ブロック居宅介護支援事業所	2
12	21	高知市	高知県自主防災組織人材育成研修	南海トラフ地震に対する備え	高知県危機管理部 南海トラフ地震対策課	1
1	15	高知市	1 月度南部ブロック会研修会	後見人制度について	南部ブロック居宅介護支援事業所	1
	24	高知市	西部地域医療カンファレンス	排泄について	西部地域医療カンファレンス実行委員会	1
2	19	高知市	2 月南部ブロック会	家族介護用品支給事業について	南部ブロック居宅介護支援事業所	
	20	高知市	国吉病院地域連携交流会	服薬指導と退院支援	国吉病院	1

(3) デイサービスセンターはるかぜ

月	日	開催地	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
5	21	はるかぜ	防災マニュアルについて	ベルカの取り扱い等について	デイサービスセンターはるかぜ	8
6	1	高知市	高知市在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会	在宅における援助の在り方・注意点等を学ぶ	高知市医師会	2
	24	高知市	自立を目指すケア研修会	介護の基礎知識や理論について	高知市高齢者支援課	1
8	8/25 9/24	高知市	ノーリフティング人材養成研修	マイスター養成	高知県地域福祉政策課	2
9	25～ 26	東京	第 46 回国際福祉機器展	福祉機器の選び方、使い方	(財) 保健福祉広報協会	1
10	9	いの町	令和元年度高齢者虐待防止・権利擁護中堅職員研修会	要介護施設従事者等による高齢者虐待の予防と養護者による虐待の	高知県社会福祉協議会	1

				早期発見、チームアップ ローチ		
	21	高知市	高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護研修	権利擁護の最新を学ぶ	高知県社会福祉協議会	1
11	27	高知市	中間管理職育成向上研修会	組織の育成風土醸成の 為に	高知県老人福祉施設協議会	1
12	17	高知市	働き方改革マニュアルセミナー	働き方改革のマニュアル・動画を用いて職場で活用する	高知県商工労働部 雇用労働政策課	1
1	25	高知市	ノーリフティング人材養成研修	技術教育リーダー研修	日本ノーリフト協会高知支部事務局	1

(4) デイサービスセンターそよかぜ

月	日	開催地	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
5	21	はるかぜ	防災マニュアルについて	ベルカの取り扱い等 について	デイサービスセンターはるかぜ	6
6	1	高知市	高知市在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会	在宅における援助の 在り方・注意点等	高知市医師会	1
	12	高知市	認知症介護基礎研修	認知症の人の理解と 対応の基本	高知県社会福祉協議会	1
	6/24、 8/7、 9/26、 11/18	高知市	自立を目指すケア研修会	介護の基礎知識や理 論について	高知市高齢者支援課	3
	25～28	高知市	認知症介護実践者研修 『実践者研修』	認知症ケアの基本的 視点と理念	高知県社会福祉協議会	1
7	9～10	高知市	認知症介護実践者研修 『実践者研修』	アセスメントとケア の実践の基本Ⅰ・Ⅱ	高知県社会福祉協議会	1
8	2	高知市	ノーリフティング人材養成研修	マイスター養成	高知県地域福祉政策課	1
10	9	いの町	令和元年度高齢者虐待防止・権利擁護中堅職員研修会	要介護施設従事者等 による高齢者虐待の 予防と養護者による 虐待の早期発見、チー	高知県社会福祉協議会	1

				ムアプローチ		
--	--	--	--	--------	--	--

(5) うららかキッズガーデン

月	日	開催地	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
4	10	高知市	第1回乳児（1歳未満）保育研修	乳児期の栄養について	高知市保育幼稚園課	1
5	9	高知市	園評価の手引き研修会	園評価について	高知県教育委員会事務局	1
	20	高知市	高知県キャリアアップ研修	乳幼児理解と主任保育士・幼稚園教頭等に求められるもの	高知県教育センター	1
6	3	高知市	プール安全衛生管理講習会	プールの衛生管理	高知市保育幼稚園課	1
	10	高知市	高知県キャリアアップ研修	特別な配慮を要する	高知県教育センター	1
	18	高知市	高知県キャリアアップ研修	高知県における家庭支援の取組	高知県教育センター	1
	20	高知市	高知市保育所食育研修会	保育所給食における衛生管理	高知市保育幼稚園課	1
	27	高知市	アレルギー児対応研修会	給食における衛生管理・食育推進計画	高知市保育幼稚園課	1
7	4	高知市	高知県キャリアアップ研修	特別支援教育の視点に基づいた保育（行動分析）	高知県教育センター	1
	8	高知市	救急救命講習会	事故防止ガイドラインに見る事故対策	総合あんしんセンター	1
	12	高知市	高知市乳児保育研修	公開保育研修	高知市保育幼稚園課	1
	25	高知市	高知県キャリアアップ研修	園内研修の活性化	高知県教育センター	1
	26	高知市	高知県キャリアアップ研修	子供一人一人に応じた食事の提供	高知県教育センター	1
	29	高知市	高知県キャリアアップ研修	教育・保育施設等における事故防止及び事	高知県教育センター	1

				故発生時の対応のためのガイドラインの理解		
8	19	高知市	高知県キャリアアップ研修	保育所における感染症対策ガイドラインの理解及び保育	高知県教育センター	1
	20	高知市	高知県キャリアアップ研修	子供の発達と保健計画	高知県教育センター	1
	22	高知市	高知県キャリアアップ研修	食育の内容と計画（保育所保育指針）	高知県教育センター	1
9	4	高知市	高知県キャリアアップ研修	医療的ケア児の理解に関すること	高知県教育センター	1
	10	高知市	高知県キャリアアップ研修	アレルギー疾患の理解とその対応	高知県教育センター	1
	11	高知市	高知県キャリアアップ研修	保育所・幼稚園等における親育ち支援	高知県教育センター	1
	28	高知市	感染症対策研修会	基礎知識と予防方法	高知市保育幼稚園課	1
10	23	高知市	高知県キャリアアップ研修	児童虐待に関する研修	高知県教育センター	1
	30	高知市	感染症対策研修会	基礎知識や予防方法	高知市保育幼稚園課	1
11	26	高知市	高知県キャリアアップ研修	人権教育と主任・教頭等の役割	高知県教育センター	1

[3]在宅介護センターわかくさ関連事業

1 デイサービスセンター くつろぎの家

【サービス】

ご利用者の状況に応じた個々の目標を把握し自立支援に向けた支援を行った。機能面では在宅生活が継続できるよう、生活リハビリを中心に身体機能の維持、向上に努め、ケアワーカーで実践できる体操やかみかみ百歳体操等の機能維持訓練を行なった。活動面では個々の趣味を汲み取りながら共通できるプランターでの野菜作り、簡単な調理の参加、おやつ作り、貼り絵、折り紙、塗り絵、編み物、将棋、花札等の身近な活動を行った。また、集団レクリエーションでは口腔機能の維持向上に繋がる体操を取り入れ、他者との交流が深まるよう楽しみをもって行えるよう配慮し心身の活性化を図ることができた。

介護事故では介護ミスや見守り不足といった防げる事故が目立ったため、検討内容に

対する対応策等について周知・徹底を図り、個々の身体状況の把握等行う事で介護事故ゼロを目指せるように情報共有や予測、リスクマネジメントへの理解を深めご利用者の安全が守られるように技術等の向上も必要である。

今後は機能面、活動面、社会交流等の支援技術として年代や個々の人生に沿った多様な高品質サービスが提供できるようアセスメント能力の向上や専門的知識、資質の向上に向けて研修に積極的に参加しながら取り組んでいく。

【運 営】

1日当たりの平均利用数は約22.4名と目標である25名に届かなかった。要因として1年を通して入院者の調整不足や夏冬場の老人保健施設の利用を予測して新規ご利用者の調整不足がご利用者数の減少になった原因と考える。定期的な居宅への訪問営業の継続や夏冬場の特に入院者等が増える見込みのある時期に向けて新規ご利用者の受け入れ、入院者の再開に向けた再調整を行う。また例年同様の夏場の脱水予防の対策には種類の充実とゼリー飲料等提供、水分量の確保に努め、体調管理を行うことで防げる入院や、冬場も同様に感染症予防対策の徹底が必要である。

【行事等】

4月	バイキング・おやつクッキング
5月	母の日・おやつクッキング・バイキング・朝倉第二小学校交流
6月	父の日・おやつクッキング・バイキング
7月	バイキング・おやつクッキング・よさこい鳴子踊り来荘
8月	よさこい鳴子踊り来荘・バイキング・おやつクッキング・流しそうめん
9月	敬老会・バイキング・おやつクッキング
10月	バイキング・おやつクッキング・ハロウィン・やさいも
11月	運動会、バイキング・おやつクッキング
12月	年忘れ会・バイキング・おやつクッキング
1月	バイキング・おやつクッキング
2月	節分・バイキング・おやつクッキング・バレンタイン
3月	バイキング・おやつクッキング・お花見

【要介護利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	21	21	21	20	22	21	19	20	19	19	19	20	242
要介護2	16	13	14	14	15	14	13	18	19	15	13	11	175
要介護3	11	10	11	11	10	9	8	8	8	8	6	9	109
要介護4	9	10	10	10	10	10	9	10	10	10	11	10	119
要介護5	8	7	8	8	9	8	8	6	5	5	5	3	80

合計	65	61	64	63	66	62	57	62	61	57	54	53	725
1日平均	23	24.3	24.1	23.6	22.8	22.2	22.9	23.5	22.6	20.7	19.8	20.1	22.4
平均介護度	2.49	2.49	2.53	2.55	2.53	2.53	2.54	2.41	2.39	2.42	2.44	2.33	2.47

【介護予防延利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	11	10	5	0	0	0	0	0	4	5	4	4	43
要支援2	14	17	21	23	22	27	27	27	26	25	20	14	263
合計	25	27	26	23	22	27	27	27	30	30	24	18	308
1日平均	0.83	0.87	0.86	0.74	0.70	0.9	0.9	0.9	0.96	0.96	0.82	0.58	0.83

【職員研修等】

	内部研修・勉強会	外部研修
4月	勉強会「事業計画」 伝達研修	高知県老施協 総会（1名）
5月	勉強会「接遇」 伝達研修	高知県経営協 総会（1名）
6月	勉強会「食中毒・手洗い」 伝達研修	認知症介護基礎研修（1名） 自立を目指すケア研修会（1名：1回目）
7月	勉強会 「顔の見える産業医を目指して」 伝達研修	四国老人福祉施設関係者研究大会（3名）
8月	勉強会「事例検討：転倒事故」 伝達研修	自立を目指すケア研修会（1名：2回目）
9月	勉強会「救急法」 伝達研修	自立を目指すケア研修会（1名：3回目） 国際福祉機器展（2名） 高齢者の「できる」を引き出す研修会（2名）
10月	勉強会 「感染症：インフルエンザ・ノロウイルス」 伝達研修	認知症介護実践者研修（1名） 全国老人福祉施設研究会議（2名） 高齢者の「できる」を引き出す研修会（2名） 21世紀委員会合同ブロック会（1名） 事務職員研修会（1名）
11月	勉強会「認知症：ユマニチュード」 伝達研修	腰痛予防研修（1名）
12月	勉強会「交通安全対策」 伝達研修	四国ブロックカンントリーミーティング（2名）
1月	勉強会「身体拘束・虐待・不適切ケア」 伝達研修	
2月	法人研修「認知症」 伝達研修	
3月	新型コロナウイルス感染予防の為、自粛	

2 デイサービスセンターわかくさの家

【サービス】

住み慣れた場所でご本人らしい生活が継続できるよう、ご利用者一人ひとりの生活環境を知り、ニーズに合ったサービス提供を心掛け、心に寄り添い理解し、出来る事を見守りながら、季節を感じて頂けるよう、職員も共に四季折々の創作活動・おやつ作り等を計画・実行し「楽しみ・笑顔の場」を提供すると共に、ご利用者の日々の変化にも気付けるよう心掛け実施した。また、在宅生活を支えているご家族間の交流が図れるよう、デイ昼食会を開催し沢山のご家族の参加があり、ご自宅でのケアや悩み等の話し合える場となった。

職員研修では認知症ケアの研修に県内外のみならず、四国内外参加させて頂き、他県のような取り組み、ケアを知ることで個々のスキルアップに繋がり、伝達研修を行うことでセンター内にて共有する事が出来た。今後もケア、スキルアップ向上の為、様々な研修への参加が必要である。

【運営】

年度当初は稼働率を維持する事が出来たが、年度末には新型コロナウイルス感染症や入院等の影響があり、稼働率が低下したが、年間では安定した稼働率であった。利用中止者が発覚すれば、自・他居宅と連絡・連携を図り、曜日追加等を提案し稼働率維持に努めた。また、ご利用者の心身の状況に合わせ再度の迎えや振替利用等をケアマネに提案し、ご家族了解のもと調整し稼働率維持・向上にも努めた。

体験利用の際にはご家族の安心と信頼、ご利用者の不安感から安心感を認識して頂けるよう、継続し接することが認知症対応型デイには重要なことである為、今後も積極的に受け入れる。

【行事等】

4月	誕生会・壁画作り・生け花
5月	誕生会・おやつ作り
6月	壁画作り・おやつ作り
7月	壁画作り・誕生会・七夕・わかくさ納涼祭・流しソーメン
8月	誕生会・創作・千羽鶴作り・スイカ割り
9月	誕生会・創作・敬老会
10月	誕生会・月見団子作り・朝倉第二小学校音楽会観覧・デイ昼食会・ミニ運動会
11月	誕生会・壁画作り・わかくさ美術展
12月	誕生会・年忘れ会・餅つき
1月	誕生会・新年遊び・おやつ作り
2月	誕生会・壁画作り・おやつ作り

3月	誕生会・創作・おやつ作り
----	--------------

【要介護利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	39	39	33	34	29	23	25	24	13	13	12	13	297
要介護2	38	44	37	43	52	39	49	47	65	51	47	52	564
要介護3	72	86	75	79	61	79	84	83	63	59	55	47	843
要介護4	49	45	36	44	35	35	42	36	47	43	36	44	492
要介護5	39	43	36	40	38	35	40	37	41	35	36	40	460
合計	237	257	217	240	215	211	240	227	229	201	186	196	2656
平均	10.77	11.17	10.85	10.43	9.77	10.05	10.43	10.81	10.41	8.74	9.3	8.91	10.14
平均介護度	2.74	2.75	2.75	2.75	2.7	2.95	2.9	2.9	3.0	3.0	3.1	3.0	2.88

【職員研修等】

	内部研修・勉強会	外部研修
4月	勉強会「事業計画」 伝達研修	
5月	勉強会「接遇」 伝達研修	
6月	勉強会「食中毒・手洗い」 伝達研修	認知症介護基礎研修（1名）
7月	勉強会 「顔の見える産業医を目指して」 伝達研修	四国老人福祉施設関係者研究大会（2名） ユマニチュード（1名）
8月	勉強会「事例検討：転倒事故」 伝達研修	
9月	勉強会「救急法」 伝達研修	
10月	勉強会 「感染症：インフルエンザ・ノロウイルス」 伝達研修	高齢者の「できる」を引き出す研修会（2名） 認知症介護実践者研修（1名） 全国老人福祉施設研究会議（1名） 産業医活用セミナー（1名）
11月	勉強会「認知症：ユマニチュード」 伝達研修	
12月	勉強会「交通安全対策」 伝達研修	
1月	勉強会「身体拘束・虐待・不適切ケア」 伝達研修	
2月	法人研修「認知症」 伝達研修	

3月	新型コロナウイルス感染予防の為、自粛
----	--------------------

3 小規模多機能型居宅介護 わかくさ

【サービス】

本年度は積極的に研修へ参加させ、職員が意欲的に取り組むことができ、多くの研修に参加と、仕事に対する向上心も見受けられた。

ご利用者の個々に合わせた創作活動やレクリエーション等も、昨年度より提供出来ることが増えてきているので、今後もサービスの充実を図り様々な研修への参加を促していきたい。チームケアとしては、声の掛け合いが出来ていなかったり、お互いが意見を言い合いやすい環境ではなかったと感じることがあり、それらによって事故も起こってしまったケースもあり、来年度は、職員間の絆を繋げ心身共に働きやすい職場にしていきたい。職員の妊娠・出産が重なり運営推進会議への職員の参加が難しかったが、来年度は育休後の職場復帰する職員もあるので、全職員が地域と関われる機会を増やしていきたい。

【運営】

体調管理・環境整備に努め入院者は少なかったものの、入院者の退院が幾度となく延期になり長期間の入院になってしまい空き日数が出来てしまう事があった。来年度は、入院先の相談員やご家族とも綿密に連絡を取り、情報共有と収集を行い、入院が長引くような場合は、ご家族の意向等を伺いつつ、今後の利用とサービス対応を早め早めに考え行動したい。また、登録解除の場合でも、新規登録までの間は、依頼先や待機者と連絡を密に行い円滑かつスムーズに行えたので来年度も継続していきたい。ただ、近年の傾向として、新規依頼や待機者が要介護1、要介護2の方が多く、経営安定化を含め、今後は平均介護度に注視することが必要である。

【行事等】

4月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生日イベント（ひろめ市場外食） 買い物（生活支援プログラム） 外部評価 防犯訓練	10月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生日イベント（天下味外食） 買い物（生活支援プログラム） 歌唱ボランティア慰問 運営推進会議
5月	居酒屋 よつ葉カフェ 買い物（生活支援プログラム） 運営推進会議	11月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生会（レストラン外食） 平成福祉専門学校学園祭見物 わかくさ美術展 朝倉第二小音楽祭 招待 運営推進会議 鶴来巣地区花植え（利用者2名参加）

6月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生会 買い物（生活支援プログラム） 朝倉第二小学校4年生交流 平成福祉専門学校見学・交流 センター断捨離・清掃活動	12月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生会 年忘れ会 もちつき 鶴来巣町内会忘年会
7月	誕生会 買い物（生活支援プログラム） 在宅介護センターわかくさ納涼祭 運営推進会議	1月	初詣 誕生会 ダンス体操慰問 歌唱ボランティア慰問 運営推進会議
8月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生会 鶴来巣地区納涼祭	2月	よつ葉カフェ 誕生会
9月	居酒屋 よつ葉カフェ 誕生会 敬老会 運営推進会議 シェイクアウト訓練 防災訓練	3月	誕生会 コロナウイルス感染予防にて行事等 自粛

【介護度別利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	5	5	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	61
要介護2	12	12	11	11	11	12	12	12	12	11	11	10	137
要介護3	4	4	6	6	6	6	6	7	8	9	7	8	77
要介護4	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2	4	4	44
要介護5	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31
計	29	29	29	29	29	30	29	29	30	29	29	29	350
平均介護度	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.5	2.55	2.48	2.5	2.48	2.55	2.68	2.57

【機能別延利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通い	425	426	410	408	400	365	391	432	446	460	421	457	5041
訪問	833	875	936	900	790	764	790	864	939	933	937	993	10554
宿泊	128	124	117	104	126	88	99	123	122	129	109	111	1380
計	1386	1425	1463	1412	1316	1217	1280	1419	1507	1522	1467	1561	16975

【職員研修等】

	内部研修・勉強会	外部研修
4月	勉強会「事業計画について」 伝達研修	
5月	勉強会「接遇・ハラスメント」 伝達研修	高知介護カフェ（1名）
6月	法人研修「食中毒について」 伝達研修	認知症介護基礎研修（1名） 自立を目指すケア研修会（1名：1回目）
7月	勉強会「産業医とは」 伝達研修	四国老人福祉施設関係者研究大会（2名）
8月	勉強会「介護事故事例検討会」 伝達研修	自立を目指すケア研修会（1名：2回目）
9月	勉強会「救急法」 伝達研修	高齢者の「できる」を引き出す研修会（1名） 家族からのヘビークレーム対応策研修会（2名） 国際福祉機器展（1名） 自立を目指すケア研修会（1名：3回目） 高知県福祉・介護信任職員フォローアップ研修（1名）
10月	勉強会（感染症・吐物の処理方法・正しい手洗い） 伝達会	高知県高齢者虐待防止・権利擁護中堅職員研修（1名） 認知症実践者研修（1名） 全国老人福祉施設研究会議（1名）
11月	勉強会（認知症・ユマニチュード） 伝達研修会	認知症実践者研修（1名） 自立を目指すケア研修会（1名：4回目） JCHO 高知西病院地域包括ケア推進連携連絡会（1名） 腰痛予防研修（1名）
12月	勉強会（交通安全対策） 伝達研修	小規模多機能型居宅介護事業者連絡会「全国大会」（2名） 認知症実践者研修（1名）
1月	勉強会（身体拘束・虐待） 伝達研修会	
2月	法人研修（認知症の治療とケア） 伝達研修	
3月	センター新規採用職員研修(1名) コロナウイルス感染予防にて勉強・伝達会中止	コロナウイルス感染予防にて運営推進会議延期

4 くつろぎの家 訪問入浴サービス

【サービス】

ご利用者の一人ひとりの心身の状態に応じたケアを提供すると共に、出来る事を見守り、安心・安全で癒しの時間を提供し、ご家族とも密なコミュニケーションを心掛けた。

【運 営】

令和元年度における新規利用者は17名。問い合わせ及び新規依頼65件あったが、空き曜日無・調整困難・サービス提供地域外の為、48件お断りする事となった。また、前年度に続き障害者委託契約を継続し、問い合わせ2件あったが、調整困難であったため新規契約には繋がらなかった。

同業者の事業縮小に伴う問い合わせも多くあり、可能な範囲内で受け入れ態勢を整えたが、すべての方の受け入れは難しくお断りする形となった。受入増を図るため、現利用者の利用時間・曜日等の調整を各関係機関と連携し対応するも、時間指定の新規利用や急な体調悪化に伴い利用に至らなかったケースも多数あった。

今年度は、死去・入院により19名の利用者が訪問入浴を中止した。ターミナルケアのご利用者が多く利用開始後、短期間でサービス終了されるケースも見られた。また、定期サービス利用中に状態悪化し入院され、入院期間も不明だったが、約1ヶ月を目途に各関係機関に連絡し、体調確認や退院の有無等の状況確認を行ったうえで、最終的に利用中止となったケースもあった。

今後、ターミナルケアの方や在宅医療が重点になってくる中で訪問入浴としての役割や必要性を踏まえ、様々なニーズに応える事が出来るよう柔軟な考えを持ち、新規利用者増加に繋がりたいと思う。

【利用状況（障害含）】

	延べ人数	実人数	1日平均	平均介護度
4月	82	18	3.9	4.44
5月	86	20	4.0	4.37
6月	84	20	4.2	4.29
7月	95	21	4.3	4.31
8月	87	20	4.35	4.29
9月	81	21	4.26	4.27
10月	85	21	4.04	4.22
11月	84	21	4.2	4.23
12月	81	20	4.05	4.22
1月	73	17	3.84	4.17
2月	68	18	3.77	4.04
3月	74	18	3.52	3.90
合計	980	235	4.0	4.24

5 高知市在宅介護支援センター あさくら（居宅介護支援事業所）

【資質向上】

令和元年度の計画に基づく目標に対しての質の向上に関して、ご利用者の自立支援を重視しながら、その方を支える介護を担う介護者の身体的・精神的負担が少しでも軽減でき、在宅生活の継続を意識しながらプランニングすることが出来ていた。困難なケースに関しては一人で悩む事のないよう、職員間で情報を把握・共有し、共にマネジメント案を出していくことに努めた。また、週1回の定例会に様々なケースを議題として上げ、他のケアマネの意見を聞きながらマネジメントの方向性も確認する事も出来た。毎日の朝礼ミーティングと週1回の定例会で、新たな情報を積極的に取り入れ、研修の報告を行い、全ケアマネが情報の理解と把握が業務に活かす事が出来ていた。

研修への参加も外部の研修と内部の研修にも参加する事が出来ており複数事業所事例検討には積極的に参加する事が出来ていた。

【地 域】

月に一回の認知症カフェも定期的で開催する事が出来ており、毎月10名～15名程の来客が見られていた事で地域との繋がりを大事にし、交流を図る事ができた。

【運 営】

医療関係機関や行政、地域包括支援センターとも連携を取り、情報入手や困難ケースの対応等に関し、他のケアマネと相談しながら対応する事が出来ていた。事業所内の「あさくら出張所」とも連携を図り、依頼があった際には積極的に受け入れることができていた。また、法人内事業所間での連携も図り、事業所内での連携では申し送りを十分に行い、緊急時対応に24時間体制で対応する体制ができた。

利用者一人一人の個別性を重要視する事が出来ており、事業所全体でフォローし合いながら柔軟な対応が出来ていた。利用者ケースに関して、利用者の傾向として要介護1～要介護3程度の方々が在宅生活で非常に困っているケースが多く見受けられた。令和元年度は5名体制での運営でやってきたが令和2年度ではケアマネ4名体制で運営するようになる。4名体制でも柔軟な対応で全ケアマネが目標ケース数を達成出来るように努める。

【介護度別請求件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	59	57	59	58	59	59	59	63	59	54	57	58	701
要介護2	50	48	44	47	49	51	51	56	57	47	42	39	581
要介護3	27	28	27	26	23	25	28	27	28	20	17	18	294
要介護4	14	16	15	17	17	18	17	16	18	15	15	16	194
要介護5	7	5	7	5	7	6	6	4	5	4	3	3	62
計	157	154	152	153	155	159	161	166	167	140	134	134	1832

【職員研修等】

	内部研修	外部研修
4月	伝達研修 勉強会「事業計画について」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加)
5月	伝達研修 勉強会 「接遇・ハラスメント研修」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 高知県経営協 総会(1名) 介護支援専門員定期総会(4名) 国吉病院地域連携交流会(3名)
6月	法人研修「感染症対策」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 西部地域医療カンファレンス(1名) 介護予防支援従事者研修会(1名) 複数居宅共同事例検討会(4名)
7月	伝達研修 勉強会「産業医とは…」	難病学習会(1名) 高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 若年性認知症人と家族と支援者の会定期総会 (1名)
8月	伝達研修 勉強会「事故事例検討」	西部地域医療カンファレンス(全員参加) スーパービジョンの実践について学ぶ(1名) 入退院時の引き継ぎルールの運用に関する研 修(1名)
9月	伝達研修 勉強会「救急法」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 主任ケアマネ研修(1名) 西部地区事業所情報交換会(全員参加) 防災研修会(1名) 家族からのヘビークレームへの対応策(1名)
10月	法人研修 「季節感染症について」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 主任ケアマネ研修(1名)
11月	伝達研修 勉強会 「認知症(エマニチュド)について」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 地域を変える認知症カフェ(4名) スーパービジョンの展開について(1名) 複数居宅共同事例検討会(4名)
12月	伝達研修 勉強会「交通安全対策」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 地域の介護支援専門員との意見交換会(1名)
1月	伝達研修 勉強会 「身体拘束・虐待について」	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 複数居宅共同事例検討会(3名)
2月	法人研修 「認知症について…」 伝達研修	高知市居宅介護支援事業所西部ブロック研修 (全員参加) 複数居宅共同事例検討会(4名)

3月	※コロナウイルス感染予防対策の為 中止
----	---------------------

6 高知市西部地域高齢者支援センターあさくら出張所

【総合相談・支援機能の充実】

関係機関や住民へ‘地域の身近な相談窓口’としての周知・啓発、関係作りを心がけ、個別ケースへの対応を実施。地域住民からの相談、各種申請代行依頼、昨年度からの継続ケースのモニタリング・安否確認等、訪問を原則に実態把握し支援を行った。独居の認知症のケースや虐待疑い等の支援困難なケースでは、西部地域高齢者支援センターや生活福祉課、高知市社協等の関係機関や地域住民と協力、連携し、単独で抱え込まず、対象高齢者の問題解決に結びつくよう複数で協議し対応することを心掛けた。ケース対応で把握した情報は、高知市要援護者台帳へ登録しデータ管理・活用。令和2年2月1日から高知市のシステム変更があり、個別記録見直しや整理を行う機会となっている。

令和元年度相談支援述べ回数は2,288回、年間相談支援実人数は延べ866人(新規:305人)。昨年度に比較し相談支援回数は増加、相談支援実人数はほぼ同数、新規相談者は減少。新規相談者数減少しているが、困難なケースへの対応の結果、相談支援述べ回数が増加したのではないかと考える。

地域ケア会議、外部の研修参加にて個別課題解決及びケアマネジメントの実践力の向上に努めた。

○地域ケア会議：4/22、5/17、6/17、8/19、9/30、10/18、12/12、1/17

○外部研修：4/8、居宅ブロック会：訪問看護・リハビリについて

4/24 高知市地区社会福祉協議会連合会研修会：地「参」地「笑」福祉でまちづくり

5/20 居宅ブロック会：口のリハビリ～STの意義について～

5/31 地域アセスメント研修

6/21 地「参」地「笑」～福祉でまちづくり出前講座～

6/22 令和元年度高知市高齢者虐待予防研修会

7/3・4 四国老施協関係者研究大会：つながる人 つくる地域 つづく未来

7/17・24、8/5 高知市訪問型サービスC従事者研修

8/2 地域支え合いフォーラムinあさひ

8/5・8 居宅ブロック会：生活機能評価表について

8/19 西部ブロック情報交換会

9/5 ケアマネジメント研修「アドバンス・ケア・プランニング」

10/7 保健所嘱託医勉強会「社会的ひきこもりについて」

10/7 西部地域多職種連携研修会「8050問題について」

10/25 11/22、認知症スキルアップ勉強会

10/29・30 全国老人福祉施設研究会議

- 11/5・6 地域づくり研修
- 11/12 令和元年度高次脳機能障害者支援地域研修会
- 11/15 認知症カフェ開設講座「地域を変える認知症カフェ」
- 11/27 ひきこもり講演会「つながる festa」
- 11/30・12/1 「見える事例検討会」ファシリテーター養成講座
- 12/1 居宅ブロック会：アドバンス・ケア・プランニング
- 12/12 家族介護の理解に関するケアマネジメント研修
- 12/24 保健所嘱託医勉強会「妄想性障害について」
- 1/20 居宅ブロック会：介護医療院について
- 1/29 認知症初期集中支援事業に関する研修会
- 1/29 令和元年度高知市地区社会福祉協議会連合会全体研修会
- 1/31 令和元年度ケアマネジメント研修会
- 2/6 地域包括ケア研修会：認知症ちえのわ net について
- 2/10 居宅ブロック会：高知家お薬プロジェクト、高齢者福祉サービスについて
- 2/17 個人情報保護研修

【地域活動】

住民活動に参加、介護予防・認知症・健康に関する啓発活動に取り組み、地域内の各種団体や関係機関と協働、活動支援やネットワーク構築を行った。

地域共生社会の実現に向け、地域住民の支え合いを関係機関と協働し支援。地域コミュニティ会議の朝倉まちづくりの会や地域内連携協議会、医療生協、高知市社会福祉協議会と共に地域課題の把握、解決への取り組みを検討している。

昨年度、朝倉第2小学校地域内連携協議会に地域課題把握部会が設立され、出張所も部会構成員となり、第2小学校区の課題把握・解決への取り組みを住民や行政関係者とともに始めたところである。

地域の高齢者の集いの場（百歳体操、サロン、宅老所たんぽぽ朝倉等）に参加し地域の方と情報交換、出張所の役割広報、機会を捉えた健康・介護予防の啓発活動を行い、新たな交流の場作りに地域住民や関係機関と協働し取り組んでいる。その他、男性主体の料理教室（ヤロウ会）や脳卒中自主グループ（〇〇会）、朝倉地区の福祉委員等の住民主体の介護予防活動の支援に関係機関と共に取り組んでいる。

認知症支援に関しては、認知症サポーター養成講座を主催3回、開催支援5回実施。また、地区内2か所の認知症カフェに関わり、西部地域高齢者支援センターや他出張所、高知市社会福祉協議会と連携し、認知症の方が住みなれた地域で安心した生活が継続できるよう啓発や支援に取り組んだ。

【その他】

令和2年2月1日より、東部・北部地域高齢者支援センター・出張所が地域包括支援

センターとして再編。令和3年2月1日より南部・西部地域高齢者支援センター・出張所が地域包括支援センターとして再編、担当職員数や業務内容が変更となる。令和元年度は、準備・情報収集期間として、地域包括支援センター職員必須研修に可能な範囲で参加させてもらい、東部・北部圏域出張所の業務委託への動向の情報収集に努めた。

7. シルバーハウジング（若草町）

若草南町の市営住宅内のシルバーハウジングの入居されている方を中心に、日常的な相談や介護の相談、安否の確認等を関係機関と連携をとりながら活動を行ってきた。

【活動内容・件数】

生活指導 ・相談	安否の確認	一時的な 家事援助	緊急時の 対応	関係機関 との連絡	その他
24件	1,360件	23件	12件	15件	160件

【緊急通報】

区分	件数	対応内容
緊急対応	2件	①ヘルパーよりトイレで転倒していると通報があり、腰が痛い為、救急車を要請する事となる。 ②台所電気ストーブから洗濯物に引火し初期消火により鎮火。本人に怪我は無かった。
その他	5件	①転倒し起き上がれないと通報あり、腰が痛い様子を見る事となる。 ②心臓が痛い、熱もあると電話通報あり、服薬し様子を見る事となる。 ③トイレで転倒したと通報あり、怪我もなく痛みも無いとの事で様子を見る事となる。 ④生活サイクル通報あり、本人ベッドで12時間寝ていた為。 ⑤転倒し起き上がれないと通報あり、痛みが無いとの事で様子を見る事となる。
誤作動	13件	

Ⅲ 児童福祉事業

[1] うららか保育園 関連事業

1 うららか保育園

(1)——— 保育の原点を児童憲章におく ———

- ・ 児童は人として尊ばれる

- ・ 児童は社会の一員として重んぜられる
- ・ 児童はよい環境の中で育てられる

基本方針

- ・ 子どもの人権を尊重する保育園

職員一人ひとりが子どもの命を守り育み、一人の人間として認め、毎日の保育を実践する。

- ・ 子どもの最善の利益を考える保育園

子どもの未来を見通し、広い視野で発達の過程を見守り、思いや感動を共有して保育する。

- ・ 子どもと親と保育者が共に育ちあう保育園

育児は「育自」子育ての良きパートナーとして伸びよう。

保育目標

自然に親しみ豊かな心をそだてる

おもいやりのあるやさしい心を育てる

健康で丈夫な身体を育てる

運営目標（保育への心がまえ）

- ①家庭や地域と連携し、子どもが健康で情緒の安定した生活が出来る環境を用意する。
- ②遊びや体験を通じ、将来社会人として自立する土台がしっかり出来るよう、年齢に応じた目標をもち、豊かな人間性を持った子どもを育てる。
- ③一人ひとりの子どもを正しく理解し、心身の発達の良き援助者になれるよう資質の向上に努める。
- ④保護者や地域の人々の理解や協力を得ながら園作りが進められるよう、コミュニケーションを大切にする。

（2）取り組み

基本方針、保育目標、保育への心がまえを大事にし、それぞれの部署で役割分担を行い、保育を積み重ねてきた。県医師会看護専門学校の小児看護実習生の受け入れや地域のイベント・行事への積極的な参加も行い喜ばれた。保護者会も園への行事等の協力だけでなく保護者会主催でバザーを行う等、活発な活動を行い保育園も協力して活動を盛り上げることができた。

- ①適切な役割分担と共に研修や実務による資質向上の充実に努めた。
- ②全職員での会議が取りにくいいため、朝の会・午睡時を利用しての報連相会・各部会等を行い、周知や共通理解に努めている。
- ③研修の中で園内公開保育を実施して午後意見交換、討議を行い保育・保育士の資質向上に努めた。
- ④月1回給食部会を行い献立や喫食について報告や検討を行い、給食内容の向上につなげる事が出来た。
- ⑤保育部門会を月1回行い本部に保育園の実情を報告する会を持った。
- ⑥苦情・事故報告等は随時検討会を行い今後について報告を行う。

- ⑦身体測定、誕生会、避難訓練、お点前（年長5歳児）、英語で遊ぼう（幼児組）
わくわくタイム（学研教室）年長組は年間30回年中組は6月より年間20回
遊びながら学び様々な経験をする

（3）園児入園状況と園児数

定員130名

初日 在籍入 所承諾 児童数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計 (4~9月)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計 (10~3月)	合計
	乳児	8	8	8	9	11	11	55	12	12	12	12	12	12	72
1.2歳児	53	53	54	54	54	54	322	54	54	54	54	54	54	324	646
3歳児	22	22	22	22	22	22	132	22	22	22	22	22	22	132	264
4.5歳児	59	59	59	60	60	60	357	60	60	60	60	60	60	360	717
合計	142	142	143	145	147	147	866	148	148	148	148	148	148	888	1754

（4）保育日数

土曜日（7:30～19:00）を土曜登園としているので実質休日は日曜・祝日
年末年始(12/30～1/3)である。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	24	25	26	26	23	26	24	26	26	24	25	300

2 特別保育事業

（1）延長保育事業（利用人数18時30分から19時）

補助金対象から今は外れている。利用料金のみで集金収益である、月平均20名ほどの利用である。

（2）一時保育(クローバー)

就園していない乳幼児を預かる事業。保護者の急な就労、通院、リフレッシュ等緊急を要する時などに保護者になり保育をする。7月より保育士不足で休止とする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

利用人数	57名	64名	72名									
平均利用数	3名	3名	4名									

(3) 子育て支援センター「うららかなかよし広場」

①地域子育て支援センター事業

◎ ひろば型として

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談・援助の実施（親支援）
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

②取り組み

- ・園庭、ホール、保育室を親子の遊び場・ともだち作りの場として提供し、園庭開放や体験入園を積極的に行う。
- ・看護師による毎月の身体測定。感染症等予防についての勉強会。
- ・講師を招き、茶道、スクラップブック制作等を体験する活動を行う。
- ・情報提供や園行事に参加し、保育園の在園児との交流を図る。
- ・助産婦・保健師・栄養士の外部講師を招いての相談会を行う。

③活動内容

- ・毎月「なかよし通信」を発行
- ・育児相談の実施
- ・子育てセミナー実施（月1回）
- ・給食試食会（月1回）

育児講座等の実施

開催日	講座名	開催日	講座名
4月・10月	保健師「育児相談」	7月24日	歯科衛生士「は・は・はの
4月17日	ウェルカムフレーム作り	8月6日	防災対策課「南海地震に備
5月・11月	Kasiko 和菓子作り	9月11日	手作り「歯固め作り」
5月・12月	栄養士「離乳食教室」	10月23日	親子運動教室
6月5日	メグフローラル「グリーン寄せ	12月17日	クリスマスツリーを作る
6月・2月	助産師「育児相談」	1月22日	カラーセラピー
7月・3月	スクラップブック	2月13日	コサージュ作り
		3月10日	お片付けセミナー

- ・毎月の行事・・・給食試食会・エアーランド・お楽しみ会・身体測定
- ・保育園行事への参加・・・誕生会・避難訓練・夕涼み会
- クリスマス会・節分集会・ひなまつり集会

④利用状況

☆なかよし広場（月曜～金曜）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日数	21	19	20	22	20	19	21	20	20	19	18	21	240
参加延べ人数	14 5組	13 6組	12 9組	17 5組	12 0組	109 組	112 組	97 組	125 組	92 組	115 組	139 組	1494 組

(4) 病児、病後児保育事業（ラベンダー）

病時保育室は一室のみであり。同じ病名であれば定員3名まで預かることができる。予約が重なっても病名が違う場合はキャンセル待ちとなる。空きが出ない場合はお断りする利用者も多く見られた。

本年度は上気道炎による利用が季節を問わず多く、利用疾患の8割を占めていた。夏季は、咽頭結膜炎、ヘルパンギーナ。冬季はインフルエンザ A 型による利用が多く見られたが例年より短い期間の流行であった。

小児特有の手足口病・ヒトメタニューモウイルス感染症による利用もあった。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用数	22	14	15	27	18	22	22	18	18	17	24	18	235

(5) 体調不良児対応型病児保育事業（スイトピー）

保育中の急な発熱や体調不良による利用が主となる。保護者の就労によりすぐに迎えに来る事が出来ない園児の観察、安静の為の対応をするケースが多い。

他、活動中のケガによる受診の同行が今年は3件あった。受診後の様子については保護者に説明を行いその後の受診につなげていった。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用数	22	14	42	17	18	28	5	6	12	15	10	9	198

3 行事研修状況

体験学習・保育実習等受け入れ状況

学 校 名	月 日	人 数
県医師会看護小児看護実習生	5月14日～6月28日	41名
春野高校インターンシップ	7月31日～8月2日	2名
高知南中学校職場体験	9月30日～10月4日	1名
春野中学校体験学習	中止となる	3名
竜馬看護ふくし専門学校	11月9日～11月21日	1名
神戸元町こども専門学校	6月3日～6月14日	1名

行事報告

月 日	行 事 名	月 日	行 事 名
4月 1日(月)	入園式・始園式	11月 4日(月)	ハビリテーリング秋まつりに参
4月 13日(土)	春の親子遠足		(年長)
5月 11日(土)	こいのぼり参観日 保護者会結	11月17日(日)	南ヶ丘文化祭参加(年中)
6月 8日(土)	あじさい参観日	12月 7日(土)	第18回発表会
6月 26日(水)	プール開き 神事	12月13日(金)	お餅つき
7月 13日(土)	夕涼み会	12月24日(火)	クリスマス会
7月 26日(金)	年長野外活動(仁淀川)	1月 19日(日)	保護者会バザー
7月 30日(火)	東小学校教員保幼小連携訪問	1月 21日(火)	マラソン集会
8月 5～9日	自由参観週間	1月 24日(金)	一日入学(年長)
9月 7日(土)	なかよし参観日・親育ち支援研	2月 3日(月)	節分集会
9月 17日(火)	交通安全教室	2月 21日(金)	お店屋さんごっこ
10月 13日(日)	第18回運動会	3月 13日(金)	お別れ遠足
10月 18日	秋の遠足	3月 28日(土)	第18回卒園式
(土)	春野町文化祭開幕行事に		
11月 3日	参加		
(日)			

職員の研修状況

研修状況(報告書作成有)

研 修 名	主催者	研 修 内 容	参加職種	参加人員
乳児(1歳未満児)保育研修	高知市	乳児保育に必要な知識及び技術に関する	保育士・看護師	7
保幼小連携教育講座	高知県	課題解決に向けて協議し連携を図る	保育士	1
新規採用保育士基礎研修 I	高知県	保育士・幼稚園教員に求められるもの	保育士	1
特別支援担当保育士研修	高知市	特別支援を必要とする子どもへの対応	保育士・看護師	3
アレルギー対応研修	高知市	アレルギー児の緊急時の対応等について	保育士・看護師	7
キャリアアップ研修	高知県	保幼小接続に関する研修	保育士	1
マネジメント研修	高知県	乳幼児理解と主任教頭等に求められるもの	保育士	1

看護師業務連絡会	高知士	体調不良児対応型・病児保育事業担当看護師連	看護師	1
特別支援担当保育士研修会	高知市	特別な配慮を要する子供について(個別	保育士	2
子育て支援センタースタッフ研	高知県	地域におけるセンターの取り組みについ	保育士	2
保育士会の各研修会	高知県	部門別研修会に参加して、知識を広げる	保育士・調理師	15
防災対策研修会	高知市	防災の正しい知識・理解を深め放課後の	児童クラブ	4
プール安全衛生管理講習会	高知市	入所児童のプール遊びを安全に実施す	保育士・看護師	2
特別支援担当者研修会	高知市	それぞれの障害に応じた対応と理解	児童クラブ	5
ミドル保育者研修2年次研修	高知県	ファシリテーターとして会議や研修の進め方	保育士	1
キャリアアップ障害児保育	高知県	特別支援教育の視点に基づいた保育	保育士	1
特別支援担当保育士研修会	高知市	石立保育園公開保育・ちより保育園	保育士	2
子どもの発達と発達障害	高知県	障害への理解を促進するステップアップ	児童クラブ	7
特別支援担当保育士研修会	高知市	児童発達支援事業所の理解を深める	保育士	2
保育施設における感染症対策	高知市	感染症予防対策を行う上で	看護師	1
保育所児童保育要録につ	高知県	保育要録の内容記入のポイントについて	保育士	3
高知県保育所長等研修会	高知県	保育現場におけるこども人権とは何か	園長	1
親育ち支援・子育て支援	高知市	親子の支援で求められること	保育士	3
第7回四国ブロック研修会 in 愛媛	愛媛県	病児保育事業における感染症対策につ	看護師	2
キャリアアップ特別支援保育	高知県	発達につまずきのある子どもの支援	保育士	1
キャリアアップ研修乳児保育	高知県	乳幼児期からの人権教育	保育士	1
インテンシブ・ラーニング報告	高知市	インテンシブラーニングを知っていますか	保育士	1

4 放課後児童クラブ

- ①活動場所
- * 東小学校放課後児童クラブ 東小学校校内第1 第2
 - * 西小学校放課後児童クラブ 西小学校校内第1・第2
 - * 南ヶ丘放課後児童クラブ児童クラブ第1・第2
- ②活動日
- 月～金 下校時刻より 18時まで 第三土曜 8時30分より18時
 春・夏・冬休み・振替休校日 8時30分より18時
- ③運営目標
1. 児童の出欠の確認をし、その日の健康状態を把握する
 2. 室内遊びや外遊びの約束事の指導を徹底する
 3. おやつを提供・衛生面の指導
 4. 宿題、学習援助、
- ④活動報告
- 指導員がルールについて共通認識を持ち、同じ姿勢で指導を継続することで、落ち着いて過ごす事ができている。各児童クラブが互いに連絡相談を行い

助け合う事が出来ている。毎月の定例会では情報の交換や看護師による感染症予防研修などを行っている。

春野東小学校第一放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	21	21	21	21	20	22	21	21	20	19	20
在籍 者数	31	31	31	33	33	33	31	29	29	28	28	28
出席 延人数	542	529	596	610	431	582	622	540	529	483	454	301

春野東小学校第二放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	21	21	21	21	20	22	21	21	20	19	20
在籍 者数	15	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15
出席 延人数	249	255	288	274	216	250	278	269	209	237	227	184

春野西小学校第一放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	20	21	22	19	20	22	21	21	20	19	20
利用 者数	21	21	21	21	20	19	19	19	19	15	16	16
出席 延人数	34 8	31 7	32 3	36 1	27 1	28 9	32 6	28 4	29 2	21 2	22 0	15 7

春野西小学校第二放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	20	21	22	19	20	22	21	21	20	19	20
利用 者数	18	18	18	18	19	18	16	15	15	16	15	15
出席 延人数	279	279	279	289	221	264	267	246	210	227	199	148

春野南ヶ丘第一放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	20	21	21	19	20	22	21	21	20	19	20
利用 者数	30	30	30	29	29	26	26	25	25	24	22	23
出席 延人数	473	475	504	482	350	398	447	409	380	383	343	201

春野南ヶ丘第二放課後児童クラブ利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所 日数	20	20	21	21	19	20	22	21	21	20	19	20
利用 者数	19	18	18	19	19	18	17	16	17	16	16	15
出席 延人数	289	281	296	294	217	261	293	271	272	244	230	148

* 児童クラブ全体的に児童が減少傾向にあるが、東小学校・西小学校は特別支援の児童が利用しているため指導員数が必要である。

IV 公益事業

[1] 介護福祉士養成施設 関連

1 平成福祉専門学校

総括

本年度の介護福祉士国家試験受験率は100%（34人）、合格率は76.5%（27人合格していたが、1名卒業できず取り消しとなり26人）であった。厚生労働省の報告による介護福祉士養成施設在籍者の国家試験合格率は80.0%となっている。介護福祉士国家試験100%合格を目指し、模擬試験の実施、特別講座を含む国家試験対策を時間割に組み込み行ってきたが、全体的に学生の取り組みが遅かったように感じる。動機づけの工夫を含め受験対策の工夫と強化が課題である。来年も、受験生全員合格を目指して取り組みたい。

学習指導における授業展開においては、グループワークやデモンストレーション等を取り入れ、学生が主体的に参加し、課題解決力、自発的発言力を養うための授業形態で行った。個々の学生にどのような効果、成長があったかは不明瞭だが、発信力や考える力が身につけている者がいると感じる。今後も引き続き学生が主体的に学習できるように、グループで行う活動や発表する場を作りつつ、実施後の振り返りも大切にしていきたい。

施設併設の環境を生かした演習授業（音楽、コミュニケーション技術、介護過程）では、実際の現場の中で体験を通して学習を行った。また施設職員の方を学校へ招き、学習の成果を聞いてもらうことも計画した。教育効果を高めることができていると感じる。

ボランティア活動への積極的参加は、地理的、移動手段の問題から、一部の学生にとどまっている。学生自らが活動範囲を広げることができるような、参加システムを構築する必要を感じる。

学生の生活・学習指導は、教職員で学生の情報を共有し、一貫性を持って当たった。また、異学年との交流、学習の機会を増やすことでコミュニケーション力や自己発信力の向上、共和・協調性の養成に努めている。

本校の認知度は、学内外のイベントへの参加や初任者研修、実務者研修をはじめ、小・中・高等学校での福祉授業や説明会により高まっていると感じる。それを通して入学に繋がるケースもあった。

体験入学では、学生がスタッフとして主体性、自主性を持って企画に携われている。思いを込めて参加者と触れ合っているので、学生と参加者の距離が近くなる様子が見られており、その効果としてリピートの参加者も多くなっている。

全国的に、介護福祉士養成校の入学者の激減は深刻な問題であり、県外では、外国人留学生の入学が現実的となっている。その中で、本校の入学定員充足率は72%であり、他の養成校より一目をおかれている。しかし、少子高齢化に伴う高校生数、生産人口の減少により学生募集は、ますます厳しくなると危惧する。

今後も、行政や関連機関との連携をより一層強固にし、介護の魅力を発信すると共に介護福祉士養成校での学びの重要性を広めていきたい。

①教務課

非常勤講師との授業調整は、スムーズにできたが、時間割作成やイベントの緻密な計画の遅延から、他部署に影響を及ぼすことがあった。早々の時間割作成、計画の立案に努め、教員間、他部署との連携を図る。

学習指導面では、学生が興味関心を持って学ぶことができるよう、教科間の連携を図ると共に、個人、グループワーク、また異学年同士の交流も含めて学生が主体的に学習できるよう努めた。学習習得の個人差に対して、個別指導なども実施している。

国家試験対策は、4月より時間割上に「国家試験対策」の時間を設定し、定期的に模擬試験（外部委託を含む）を実施した。また、専任教員による特別講座なども希望者のみ対象として実施した。国家試験の問題は、その年々、出題傾向が変化する。よって、多様な角度から学習できるよう教員の資質、指導力の向上に努める必要がある。

介護福祉実習関係では、「実習施設打合せ会」を年2回実施して、実習巡回において実習指導者との情報の共有、連絡・調整に努めた。学生数の減少、移動手段の確保や地理的条件の問題から、実習依頼先が特定の施設に偏っている。今までは、実習を意識したグループで情報交換会を実施していたが、今年は卒業後、社会の中で飛躍するための意見交換会に変更している。参加者からは、有意義な時間を過ごすことができたと話がっている。

在宅実習は、事業廃止の事業所があり実習施設が減少していたが、新たに三か所登録していただいている。

学籍管理は、管理ソフトにより安全で能率的にできている。

校友会活動は、現在、現実的に停止状態にある。卒業生と在校生との交流や各種イベントの協働開催などの実施に向けて、組織体制を見直す。なお、本校は、卒業生の来校が頻繁にある。卒業生が母校に来やすい環境を維持し、情報交換に努めたい。

②学生課

生活指導においては、学生の特性を踏まえた個別指導を、教員間の情報共有を図り実施した。必要に応じて、家族を交え面談も行った。

交通マナーにおいて、事故はなく、苦情や報告もなかった。今後も交通マナー順守が習慣化できるよう指導を継続する必要がある。

環境美化活動では、校内清掃は、学年を隔てた縦割りグループの編成により、学生間の協調と連携を図ることができ、効率的に清掃活動を実施することができた。

学生の健康管理については、学校保健安全法に基づき健康診断等を実施した。また、介護福祉実習時の感染予防として、便検査、インフルエンザ予防接種を実施した。

福祉施設のボランティア活動への積極的参加を、年間通じて呼びかけ、見聞を広げ自己研鑽に励むよう指導した。事業所や団体からの、ボランティア学生の評価はおおむね好評であった。課題は、地理的な理由から、参加施設、活動学生の偏りである。

学生自治会は、主体的に、学内行事を企画・運営することができた。特に、学園祭は、実習ならびに近隣施設、団体、地域住民に呼びかけ盛会であった。他、国際ソロプチミストよさこい高知の活動、交通安全運動、点字図書寄贈など、地域に密着した活動にも積極的に参加できた。先輩の活動を後輩が引き継がれている。今後も維持していきたい。

学生数

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年生	43	43	43	42	42	41	41	39	39	38	38	38
2年生	35	35	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34
留年生	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

卒業生就職先

種別	人数
介護老人福祉施設	21
介護老人保健施設	2
小規模多機能	3
障害者支援施設	4
医療機関	2
未就職	1
再履修	1
計	34

③業務推進課

実践目標

- ・学生募集の成功
- ・体験入学参加者数の増加

・福祉教育及び説明会レベルの向上

学生募集としては、50名定員に対して33名の入学生を迎えた。(充足率66%)

高校には、高知県内を中心に愛媛県南部も加え、延べ157校訪問して、体験入学への参加周知や奨学金等の周知を行った。訪問時には、国家資格取得方法の改正や国家資格の移行期間における措置についてなどの広報活動に加えて、説明会や体験入学へ参加してくれた高校生の様子や質問のあった不安なことなど、個別に対応した内容についても報告を行った。

高知県専修学校各種学校連合会の説明会や説明会業者での説明会は、高知県内の高等学校や高知県内、愛媛県南部を含むホテル等で合計35回実施し、延べ162名の高校生に説明を行った。

福祉教育授業については、高知県内14校において述べ47回実施した。

今後、高校生の人口が減少する中、それに伴い介護福祉を希望する高校生が減少することが予想される現状において、福祉教育及び説明会で会った高校生一人ひとりを大切に、体験入学への誘導、進学へと繋がるようフォローを丁寧に行う。

また、外国人留学生の募集については、他校や他機関からの情報を得ながら人材確保できる体制を整える必要がある。

④総務

実践目標

- ・迅速な会計入力を行う
- ・的確な予算管理と経費削減に努める
- ・余裕を持った業務を遂行し、気持ちの良い窓口対応を徹底する

日々の会計入力を目標としていたが実行出来ていない日もまだあり、次年度には迅速な処理が出来るよう心掛ける。予算管理については、収支共に的確に運営できた。経費については、本当に必要であるかの見直しを随時行うことで節約を徹底し、削減することが出来た。水道光熱費については、学校の教室の固定化を図り冷暖房使用量の削減や、寮の電気メーターを管理し学生へ節約の指導を随時行うことが出来た。

次年度に向けてオンライン授業等の実施を踏まえた環境整備について研鑽を重ね、時代に沿った学びができるよう努める。

2 介護実務者研修

平成31年度は昨年(初年度)に比べて受講者が激減し、19名であった。受講生全員が研修を修了した。

3 高校生就職支援事業(介護初任者研修)

本年度も高知県より委託を受け、本事業を実施した。訪問型研修として春野高校・城山高校の2校と集合型研修として本校にて1校の計3校で実施する。計31名が受講し

全員修了した。

また、この研修を通して本校への進学者は計6名である。介護分野への就職者は少なく進学希望者が増えた。介護の人材確保としての目的は果たしていると思われるが、集合型研修の受講生が減少傾向にあるので、今後は受講生の確保も必要である。